

官報

號外 昭和十五年三月十三日

第七十五回衆議院議事速記録第二十五號

帝國議會

昭和十五年三月十二日(火曜日)

午後一時二十五分開議

議事日程 第二十四號

昭和十五年三月十二日

午後一時開議

質問

一 英國軍艦力淺間丸ヨリ獨逸人船客ヲ拉致シタル事件ニ關スル質問

(清瀬一郎君提出)

二 北海道廳長官ノ白米卸賣價格指定ニ關スル質問(北勝太郎君提出)

第一 國民優生法案(政府提出)

第一讀會

第二 農產物検査法案(政府提出)

第一讀會

第三 臨時資金調整法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第四 損害保險國營再保險法案(政府提出)

第一讀會

第五 樺太鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會

第六 樺太地方鐵道補助法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

○議長(小山松壽君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

(書記官朗讀)

一 今十二日貴族院ヨリ受領シタル政府提案案左ノ如シ

外國爲替管理法中改正法律案
神宮關係特別都市計畫法案
都市計畫法中改正法律案
(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
官幣大社宗像神社境域復興ニ關スル建議案

提出者 原口初太郎君

亞炭利用ノ實驗研究ニ關スル建議案

提出者 高橋壽太郎君 篠原 陸朗君

提出者 松田喜三郎君

軍需品等輸送ノ爲澁川低水工事ヲ年度割繼續事業ト爲スノ建議案

提出者 川崎末五郎君

鐵道敷設豫定線完成ニ關スル建議案

提出者 小畑虎之助君

國立陶器研究所設置ニ關スル建議案

提出者 愛野時一郎君 池田 秀雄君

九州炭移出港ニ關スル建議案

提出者 愛野時一郎君 池田 秀雄君

九州國道網完成ノ爲二十五號線事業速成ニ關スル建議案

提出者 愛野時一郎君 池田 秀雄君

耕作ノ爲地下足袋特別配給ニ關スル建議案

提出者 愛野時一郎君 池田 秀雄君

高瀬カシム溫泉ニ國立溫泉研究所設置ニ關スル建議案

提出者 愛野時一郎君 池田 秀雄君

靖國神社ニ祀ラレタル護國英靈ノ遺族優遇顯彰ニ關スル建議案

提出者 中野 邦一君 池田 秀雄君

小泉 純也君 岡野 龍一君

多田 滿長君 西岡竹次郎君

羽田武嗣郎君 田原 春次君

前川 正一君 塚本 重藏君

石坂 繁君 三木 武夫君

篠原 義政君 西川 貞一君

坪山 德彌君 窪井 義道君

三浦 虎雄君

度量衡法改正ニ關スル建議案

提出者 山道 襄一君

浴場法案

提出者 內藤 正剛君 本田彌市郎君

中山 福藏君 西村金三郎君

山田 順策君

決議案(食糧確保ニ關スル件)

佐藤謙之輔君 堀内 良平君

内ヶ崎作三郎君 中島知久平君

牧野 賤男君 川島正次郎君

八角 三郎君 西方 利馬君

土倉 宗明君 匹田 銳吉君

井阪 豐光君 豐田 收君

久山 知之君 窪井 義道君

紅露 昭君 森 繁君

永田 良吉君 野方 次郎君

今井 健彦君 堀切善兵衛君

木下成太郎君 加藤 知正君

倉元 要一君 上田 孝吉君

望月 圭介君 大本貞太郎君

陣 軍吉君 崎山 嗣朝君

田邊 七六君 大口 喜六君

植原悅二郎君 安藤 正純君

若宮 貞夫君 板谷 順助君

宮脇 長吉君 鈴木 英雄君

深澤豐太郎君 小谷 節夫君

田中 亮一君 服部 岩吉君

原口初太郎君 砂田 重政君

猪野毛利榮君 西村 茂生君

大石 倫治君 三善 信房君

河野 一郎君 岡田 忠彦君

世耕 弘一君 麻生 久君

安部 磯雄君 河野 密君

河上丈太郎君 水谷長三郎君

龜井貫一郎君 西尾 末廣君

田万 清臣君 鈴木 文治君

須永 好君 淺沼稻次郎君

片山 哲君 阿部 茂夫君

三輪 壽壯君 赤松 克麿君

今井 新造君 小山 亮君

小池 四郎君 道家齊一郎君

田中 養達君 石坂 繁君

由谷 義治君 鈴木 正吾君

鈴木 正吾君 熊谷五右衛門君

清瀨 一郎君

守屋 榮夫君 馬場 元治君
藤本 捨助君 平野 力三君
津崎 尚武君 曾木 重貴君
岩瀬 亮君

(以上三月十一日提出)
一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

國民融和ニ關スル質問主意書

提出者

松本治一郎君

(以上三月十一日提出)
一昨十一日衆議院規則第十五條但書ニ依リ議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

岡崎 憲君

前川 正一君

塚本 重藏君

川俣 清音君

山崎 銀二君

中村 高一君

淺沼稻次郎君

三輪 壽壯君

阿部 茂夫君

三宅 正一君

河上丈太郎君

河野 密君

田万 清臣君

杉山元治郎君

龜井貫一郎君

麻生 久君

松本治一郎君

片山 哲君

水谷長三郎君

富吉 榮二君

米窪 滿亮君

一〇一

一昨十一日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任委員左ノ如シ

第三部選出豫算委員 安藤 正純君

第三部選出豫算委員 山道 襄一君

一昨十一日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

輸出資金及輸出品製造資金融通損失補償法案(政府提出)委員

辭任原 玉重君 補關片岡 恒一君

所得稅法改正法律案(政府提出)外三十件委員

辭任渡邊玉三郎君 補關深澤 吉平君

鑛業法中改正法律案(政府提出)外一件委員

辭任若瀨 亮君 補關松村 光三君

日本肥料株式會社法案(政府提出)委員

辭任松本 忠雄君 補關森田重次郎君

議長(小山松壽君) 是ヨリ會議ヲ開キマ

ス

○服部崎市君 質問一及ビ二ハ後廻シトセ

ラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異

議アリマセヌカ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ質問一及ビ二ハ後廻シト致シマス

○服部崎市君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ

提出致シマス、即チ此ノ際日程第四ヲ繰上

ゲ上程シ、其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望

ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異

議アリマセヌカ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ日程ノ順序ハ變更セラレマシタ、

日程第四、損害保險國營再保險法案、第一

讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メ

マス 委員長井上知治君

第四 損害保險國營再保險法案(政府

提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一損害保險國營再保險法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

昭和十五年三月十一日

委員長 井上 知治

衆議院議長小山松壽殿

(井上知治君登壇)

○井上知治君 只今議題トナリマシタ損害

保險國營再保險法案ノ委員會ノ經過並ニ結

果ヲ御報告申上ゲマス

本案ハ戰時其ノ他特別ノ場合ニ於テ、政

府ガ保險會社ノ引受ケタル損害保險ノ再保

險ヲ行フコトヲ目的トスルモノデアリマス、

即チ戰時ニ於テハ危險ガ著シク増加シ、且

ツ其ノ測定ガ甚ダ困難デアリマスカラ、保

險會社ノ獨力ヲ以テシマシテハ、勢ヒ保險

料ノ暴騰又ハ其ノ引受ノ困難ヲ免レナイ、

故ニ國家ノ責任ニ於テ保險料ノ昂騰ヲ抑制

スルト共ニ、保險ノ引受ヲ確保シ、以テ戰

時ニ必要ナル貿易海運ノ遂行其ノ他ニ遺憾

ナキヲ期セントスルノガ、本案ノ第一ノ目

的デゴザイマス、更ニ我國ノ保險會社ガ、

國內ニ於テ引受ケタル損害保險ノ中、相當

ノ部分ヲ外國ノ保險業者ニ再保險ヲ付スル

コトニ依リマシテ、國際ニ危險ノ分散ヲ

圖ツタ次第デアリマスルガ、戰時其ノ他ノ

場合ニ國際ノ關係、或ハ相手國ノ國內事情等

ニ依リマシテ、外國トノ再保險取引ニ支障

ヲ生ジタル場合ニ於テ、外國ノ保險業者ニ

代リマシテ、政府ガ再保險ヲ行フコトニ依

リマシテ、國內ノ保險ノ引受ニ支障ナカラ

シメントスルノガ、第二ノ目的デアリマス、

委員會ニ於キマシテハ、前後四回ニ互リマ

シテ慎重ニ論議ヲ重ネマシタガ、今其ノ内

容ノ主ナルモノ二三點ニ付申上ゲタイト思

フノデアリマス

第一ニ本法ニ依ツテ國營ノ再保險ヲ行フ

損害保險ノ種類如何ト云フ質問ニ對シマシ

テ、政府ハ差當リ實施セントスルノハ、昨

年十一月以降、戰時海上保險補償制度ヲ行

ツテ居ル所ノ、戰爭危險ニ對スル海上保險

デアツテ、目下ノ所ツレ以外ノ保險ニ付テ

ハ、之ヲ行フ意思ガナイトノ御答辯デアリ

マシタ

第二ニ外國再保險取引ニ支障ヲ生ジタル

場合、一般損害保險ニ付キマシテモ、政府

ガ再保險ヲ行フ結果、保險會社ノ事業ヲ不

當ニ壓迫スル虞ハナイカトノ質問ニ對シマ

シテ、政府ハ本法ハ保險會社ノ力ノ及バザ

ル場合、國家ノ力ニ依リマシテ之ヲ補ヒ保

險制度ノ效用ヲ發揮スルコトヲ目的トスル

モノデアリマスカラ、保險國營ハ、此ノ目

的ヲ達スル爲ニ必要ナル限度ニ限ルコトハ、

固ヨリ當然ノコトデアリマシテ、是ガ爲

保險會社ノ本來ノ事業ニ不當ノ壓迫ヲ加ヘ

ル虞ハナイ、之ヲ要シマスルニ、本法ノ實

施ハ第一條前段、即チ戰時再保險ヲ行フコ

トヲ、其ノ第一主眼ト致シマシテ、其ノ後

段、即チ普通保險ハ極メテ稀ノ場合タル萬

一ニ豫メ具ヘタモノデアルトノ、政府ノ答

辯ガアツタノデアリマス

第三ニ戰爭危險ニ付テ再保險ヲ行フ場

合、其ノ保險料率ノ基準ヲ何處ニ置クヤト

ノ質問ニ對シマシテハ、政府ハ現在ニ於テ

ハ各國共此ノ種制度ヲ實施シマシテ、極力

戰爭保險料ノ低下ニ努力致シテ居リマスガ、

本制度實施ノ目的ニ鑑ミマシテ、各國ノ

中デモ最低料率ヲバ目標トシマシテ、戰

爭保險料率ノ低下ニ努ムルトノ答辯ガアツ

タノデアリマス

斯クシマシテ質疑ヲ終リ、討論ニ移リマ

シテ、各派委員ヲ代表シマシテ民政黨ノ古

田委員カラ、是カラ申上ゲマスル論旨ノ開

陳ガアリマシタ、即チ本法ハ國際關係ノ變

局ニ際シ、損害保險事業ノ圓滑ナル運行ヲ

期スル爲、必要ナル事業タルヲ認メマスル

ケレドモ、特ニ以下ノ四項目ニ付キマシテ、

政府ノ御留意ヲ仰グタイト云フ前提ノ下

ニ、一、再保險制度ニ依ツテ民間業者ヲ壓

迫セズ、殊ニ多年ノ商習慣ヲ尊重サレタキ

コト、二、第十二條ノ命令ヲ發動スル場合ニハ、委員會ニ諮問スルハ勿論、委員會ニハ民間ノ專門家ヲ多數參加セシメ、其ノ運用ニハ萬遺憾ナキヲ期スルコト、三、政府ガ言明スルガ如ク、保險料率ハ民間會社ノ企圖シ得ザル低料率タルベキコト、四、關係各省トノ交渉ハ、十分是ガ折衝ヲ遂ゲ、以テ保險資金ノ擴充ヲ期スルコト、斯クシマシテ討論ヲ終リ、採決ノ結果、滿場一致ヲ以テ可決セラレタノデアリマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○服部崎市君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

損害保險國營再保險法案 第二讀會(確定議)

○議長(小山松壽君) 別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)

○服部崎市君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際日程第五及ビ第六ノ兩案ヲ繰上ゲ一括上程シ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ノ順字ハ變更セラレマシタ一日程第五、樺太鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案、日程第六、樺太地方鐵道補助法中改正法律案、右兩案ヲ一括シテ第一讀會ヲ續ク開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長中野治介君

第五 樺太鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第六 樺太地方鐵道補助法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一樺太鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十五年三月十一日 委員長 中野 治介

報告書

一樺太地方鐵道補助法中改正法律案(政府提出) 右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十五年三月十一日 委員長 中野 治介

○中野治介君 只今上程ニナリマシタ二法律案ニ關スル委員會ノ審議ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シマス

右ノ中樺太鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案ハ、樺太鐵道株式會社ノ經營ニ屬シマスル、國鐵東海岸線

落合驛ヨリ同海岸ヲ北上シ、知取ヲ經テ敷香ニ至ル延長二百四十五軒五分ノ私設鐵道ヲ買收スル財源トシテ、公債ヲ發行スルト云フ法律案デアリマシテ、委員長ハ法案ノ性質ニ鑑ミ、特ニ懇切ナル説明ヲ要望致シマシタガ、之ニ對シ政府委員ヨリ、該鐵道ハ舊ニ樺太ニ於ケル交通並ニ拓殖上重要幹線デアアルノミナラズ、國防上ニ於テモ亦重大ナル使命ヲ有シテ居ルモノデアルトノ趣旨ヲ提案理由ノ御説明デアツタノデアリマス、加之右鐵道ハ曩ノ議會ニ於テ速ニ國鐵ニ移管センコトヲ切望シテ居リマス、又樺太地方鐵道補助法中改正法律案ハ、其ノ補助方法ヲ改メントスル法案デアリマシテ、政府委員ヨリ現下經濟界ノ趨勢ニ鑑ミ、又他ノ外地私設鐵道補助法トノ均衡上、豫算ノ範圍内ニ補助金ヲ交付スルト云フ趣旨ヲ提案理由ノ御説明デアリマシタ

右兩案ニ對シマシテ、特ニ樺太ノ事情ニ精通セラルル坂東委員、沖島委員、田中委員、石坂委員、中村委員等ヨリ、種々重要ナル御質疑ト、買收上格段ノ注意ヲ拂ハレタキ旨ヲ希望、其ノ他有益ナル御意見ノ開陳ガアリマシタ、就中背後地ニ豐富ナル炭田ヲ有スル惠須取港ノ重要性ニ鑑ミ、東海岸ノ鐵道ヲ買收スルヨリモ、寧ろ西海岸ニ鐵道ヲ新設スル方ガ捷徑デハナイカトノ御意見モアツタノデアリマスガ、政府委員ノ御懇切ナル御答辯ガアリマシタ、其詳細ハ速記錄ニ依ツテ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

委員會ハ慎重審議ノ後、討論ニ入り、委員坂東幸太郎君、同沖島鎌三君、同中野寅吉君、同井上良次君ヨリ、ソレノ所屬黨派ヲ代表シテ原案賛成ノ意ヲ表セラレ、討論終了後、採決ニ入り總理起立、滿場一致ヲ以テ原案ノ通り可決致シマシタ、簡單デアリマスガ右御報告申上ゲマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 兩案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○服部崎市君 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

樺太鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案 第二讀會(確定議)

樺太地方鐵道補助法中改正法律案 第二讀會(確定議)

○議長(小山松壽君) 別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ、兩案トモ委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手) 日程第一、國民優生法案ノ第一讀會ヲ開キマス——吉田厚生大臣

第一 國民優生法案(政府提出) 第一讀會

國民優生法案

第一條 本法ハ惡質ナル遺傳性疾患ノ素質ヲ有スル者ノ増加ヲ防遏スルト共ニ健全ナル素質ヲ有スル者ノ増加ヲ圖リ以テ國民素質ノ向上ヲ期スルコトヲ目的トス

第二條 本法ニ於テ優生手術ヲ稱スルハ生殖ヲ不能ナラシムル手術又ハ處置ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノヲ謂フ

第三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル疾患ニ

第一條 本法ハ惡質ナル遺傳性疾患ノ素質ヲ有スル者ノ増加ヲ防遏スルト共ニ健全ナル素質ヲ有スル者ノ増加ヲ圖リ以テ國民素質ノ向上ヲ期スルコトヲ目的トス

第二條 本法ニ於テ優生手術ヲ稱スルハ生殖ヲ不能ナラシムル手術又ハ處置ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノヲ謂フ

第三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル疾患ニ

罹レル者ハ其ノ子又ハ孫醫學的經驗上同一ノ疾患ニ罹ル虞特ニ著シキトキハ本法ニ依リ優生手術ヲ受クコトヲ得但シ其ノ者特ニ優秀ナル素質ヲ併セ有スト認メラルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一 遺傳性精神病

二 遺傳性精神病

三 強度且惡質ナル遺傳性病的性格

四 強度且惡質ナル遺傳性身體疾患

五 強度ナル遺傳性畸形

四親等以內ノ血族中ニ前項各號ノ一ニ該當スル疾患ニ罹レル者ヲ各自有シ又ハ有シタル者ハ相互ニ婚姻シタル場合(屆出ヲ爲サザルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル場合ヲ含ム)ニ於テ將來出生スベキ子醫學的經驗上同一ノ疾患ニ罹ル虞特ニ著シキトキ亦前項ニ同ジ

第一項各號ノ一ニ該當スル疾患ニ罹レル子ヲ有シ又ハ有シタル者ハ將來出生スベキ子醫學的經驗上同一ノ疾患ニ罹ル虞特ニ著シキトキ亦第一項ニ同ジ

第四條 前條ノ規定ニ依リ優生手術ヲ受クルコトヲ得ル者ハ優生手術ノ申請ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ本人配偶者(屆出ヲ爲サザルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル者ヲ含ム以下之ニ同ジ)ヲ有スルトキハ其ノ配偶者ノ同意ヲ、二十五歳ニ達セザルトキハ其ノ心神耗弱者ナルトキハ其ノ家ニ在ル父母(婚姻ニ依リ其ノ配偶者ノ家ニ入りタル者ニ在リテハ其ノ配偶者ノ父母トス以下之ニ同ジ)ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

前條ノ規定ニ依リ優生手術ヲ受クルコトヲ得ル者ハ心神喪失者ナルトキハ優生手術ノ申請ハ前項ノ規定ニ拘ラズ其ノ家ニ在ル父母之ヲ爲スコトヲ得但シ本人配偶者ヲ有スルトキハ其ノ配偶者及其ノ家ニ在ル父母之ヲ爲スコトヲ得

第一項及前項但書ノ場合ニ於テ其ノ配偶者知レザルトキ又ハ其ノ意思ヲ表示スルコト能ハザルトキハ第一項ノ場合ニ在リテハ其ノ家ニ在ル父母ノ同意ヲ以テ配偶者ノ同意ニ代ヘ前項但書ノ場合ニ在リテハ其ノ家ニ在ル父母ノミニテ申請ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

前三項ノ規定ニ依リ其ノ家ニ在ル父母ノ同意ヲ要ストセラレ又ハ其ノ家ニ在ル父母ガ申請ヲ爲ス場合ニ於テ父母ノ一方ガ知レザルトキ、死シタルトキ、家ヲ去リタルトキ又ハ其ノ意思ヲ表示スルコト能ハザルトキハ他ノ一方ノミニ同意又ハ申請ヲ以テ足り父母共ニ知レザルトキ、死亡シタルトキ、家ヲ去リタルトキ又ハ其ノ意思ヲ表示スルコト能ハザルトキハ後見人ノ、後見人知レザルトキ、ナキトキ又ハ其ノ意思ヲ表示スルコト能ハザルトキハ戸主ノ、戸主知レザルトキ、未成年者ナルトキ又ハ其ノ意思ヲ表示スルコト能ハザルトキハ親族會ノ同意又ハ申請ヲ以テ父母ノ同意又ハ申請ニ代フルモノトス但シ後見人及親族會ハ第二項ノ規定ニ依リ申請ヲ爲スコトヲ得ズ

第五條 第三條第一項ノ規定ニ依リ優生手術ヲ受クルコトヲ得ル者ニ對シ監護上ノ處置、保健上ノ指導又ハ診療ヲ爲シタル精神病院法ニ依リ精神病院(同法第七條ノ規定ニ依リ代用スル精神病院ヲ含ム)若ハ保健所ノ長又ハ命令ヲ以テ定ムル醫師ハ本人ノ同意ヲ得テ優生手術ノ申請ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ本人配偶者ヲ有スルトキハ其ノ配偶者ノ同意ヲモ、二十五歳ニ達セザルトキハ其ノ心神耗弱者ナルトキハ其ノ家ニ在ル父母ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ優生手術ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テ本人心神喪失者ナルトキハ其ノ家ニ在ル父母ノ同意ヲ以テ本人ノ同意ニ代フルモノトス

前條第三項及第四項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六條 前條ノ規定ニ依リ優生手術ノ申請ヲ爲スコトヲ得ル者本人ノ疾患著シク惡質ナルトキ又ハ其ノ配偶者本人ト同一ノ疾患ニ罹レルモノナルトキ等其ノ疾患ノ遺傳ヲ防遏スルコトヲ公益上特ニ必要アリト認ムルトキハ同條ノ規定ニ依リ必要ナル同意ヲ得ルコト能ハザル場合ト雖モ其ノ理由ヲ附シテ優生手術ノ申請ヲ爲スコトヲ得

第七條 優生手術ノ申請ハ命令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ニ之ヲ爲スベシ

前項ノ申請ニハ本人ノ健康診斷書及遺傳ニ關スル調査書並ニ本人(本人心神喪失者ナルトキハ其ノ家ニ在ル父母トス但シ本人配偶者ヲ有スルトキハ其ノ配偶者及其ノ家ニ在ル父母トス)ガ優生手術ガ生殖ヲ不能ナラシムルモノナルコトヲ了知シタル旨ノ醫師ノ證明書ヲ添附スベシ

第四條第三項及第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八條 地方長官ハ優生手術ノ申請ヲ受理シタルトキハ優生手術ヲ行フベキモノト認ムルヤ否ヲ決定ス

地方長官第一項ノ決定ヲ爲シタルトキハ第四條又ハ第五條ノ規定ニ依リ優生手術ヲ爲スコトヲ得ル者及優生手術ノ申請ニ付同意ヲ得ルコトヲ要ストセラレタル者ハ書面又ハ口頭ヲ以テ中央優生審査會又ハ地方優生審査會ニ對シ事實又ハ意見ヲ申述スルコトヲ得

厚生大臣又ハ地方長官ハ中央優生審査會又ハ地方優生審査會ノ爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ第三條ノ規定ニ依リ優生手術ヲ受クルコトヲ得ル者ヲシテ審査會ニ出頭ノ上事實ヲ申述セシメ又ハ醫師ノ健康診斷ヲ受ケシムルコトヲ得

第十二條 中央優生審査會及地方優生審査會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條 優生手術ヲ行フベキモノト認ムル決定確定シタルトキハ第三條ノ規定ニ依リ優生手術ヲ受クルコトヲ得ル

第十四條 優生手術ヲ行フベキモノト認ムル決定確定シタルトキハ第三條ノ規定ニ依リ優生手術ヲ受クルコトヲ得ル

第十五條 優生手術ヲ行フベキモノト認ムル決定確定シタルトキハ第三條ノ規定ニ依リ優生手術ヲ受クルコトヲ得ル

者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ優生手術ヲ受クベシ

優生手術ハ厚生大臣又ハ地方長官ノ命ニ依リ命令ヲ以テ定ムル醫師命令ヲ以テ定ムル場所ニ於テ之ヲ行フ

前項ノ規定ニ依リ優生手術ヲ行ヒタル醫師ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ經過ヲ地方長官ニ報告スベシ

第十四條 優生手術ヲ行フベキモノト認ムル決定確定シタル場合ニ於テ本人妊娠中ナルトキハ第四條ノ規定ニ依リ優生手術ノ申請ヲ爲スコトヲ得ル者ハ同條ノ規定ニ依リ同意ヲ要ストセラレタル者ノ同意ヲ得テ其ノ決定ヲ爲シタル厚生大臣又ハ地方長官ニ對シ妊娠中絶ノ申請ヲ爲スコトヲ得

前項ノ申請ニ基キ厚生大臣又ハ地方長官妊娠中絶ヲ行フベキモノト決定シタルトキハ本人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ妊娠中絶ヲ受クベシ

前項ノ妊娠中絶ハ妊娠三月ヲ超ユルモノナル場合ニ於テハ之ヲ行フコトヲ得ズ

前條第二項及第三項ノ規定ハ第二項ノ妊娠中絶ニ之ヲ準用ス

第十五條 優生手術又ハ前條ノ妊娠中絶ニ關スル費用ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第十六條 故ナク生殖ヲ不能ナラシムル手術又ハ放射線照射ハ之ヲ行フコトヲ得ズ

第十七條 第十三條又ハ第十四條ノ規定ニ依リ場合ヲ除クノ外醫師生殖ヲ不能ナラシムル手術若ハ放射線照射又ハ妊娠中絶ヲ行ハントスルトキハ豫メ其ノ要否ニ關スル他ノ醫師ノ意見ヲ聽取シ且命令ノ定ムル所ニ依リ豫メ行政官廳ニ届出ツベシ但シ特ニ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ届出アリタル場合ニ於テ行政官廳必要アリト認ムルトキハ其ノ指定シタル醫師ノ意見ヲ更ニ聽取セシムルコトヲ得

第一項但書ノ場合ニ於テ届出ヲ爲サズシテ生殖ヲ不能ナラシムル手術若ハ放射線照射又ハ妊娠中絶ヲ行ヒタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ニ届出ツベシ

第十八條 第十六條ノ規定ニ違反シ生殖ヲ不能ナラシムル手術又ハ放射線照射ヲ行ヒタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス因テ人ヲ死ニ致シタルトキハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第十九條 中央優生審議會及地方優生審議會ノ委員若ハ委員タリシ者又ハ優生手術若ハ第十四條ノ妊娠中絶ニ關スル審査若ハ施行ノ事務ニ從事シ若ハ從事シタル公務員若ハ公務員タリシ者故ナク其ノ職務上取扱ヒタルコトニ付知得シタル人ノ秘密ヲ漏泄シタルトキハ六月以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ズ

第二十條 第十七條第一項又ハ第三項ノ規定ニ違反シ届出ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ届出ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則 本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(國務大臣吉田茂君登壇)

○國務大臣(吉田茂君) 只今上程セラレマシタ國民優生法案ノ提出ノ理由ヲ御説明申上ゲマス

國民優生法案ノ目的ト致シマスル所ハ、國民素質ノ向上ヲ圖リマシテ、之ニ依ツテ國家將來ノ發展ヲ期セントスルニアルノデアリマシテ、此ノ目的ヲ達成致シマスル爲

ニ、一面ニ於テハ、惡質ナル遺傳性疾患ノ素質ヲ有スル國民ノ増加ヲ防遏致シマスルト共ニ、他面ニ於テハ、健全ナル素質ヲ有スル國民ノ増加ヲ圖ラントスルモノデアリマス、元來我が國民素質ノ優秀デアリマスルコトハ、光輝アル二千六百年ノ歴史ノ如實ニ之ヲ示ス所デアリマスガ、現下ノ時局ニ際會致シマシテ、興亞ノ大業ヲ完成シ、將來愈々其ノ發展ヲ期センガ爲ニハ、我が國民ノ優秀性ヲ保持スルハ固ヨリ、益ニ是ガ増強ニ努ムルコトハ、今日喫緊ノ要務ト存ズルノデアリマス、我が國民體力ノ現狀ヲ見マスルニ、近年其ノ低下ノ傾向ヲ見受ケラレルノデアリマシテ、其ノ素質モ亦自然ニ之ヲ放置シテ置キマスル時ハ、次第ニ低下スルノデハナイカト懸念セララルノデアリマス、而シテ國民體力ノ向上ヲ期シマスガ爲ニハ、單ニ環境ノ改善ニ依リマスル後天の素質ノ向上ヲ圖ルニ止マラズ、更ニ進シテ根本的ニ國民ノ先天的素質ノ向上ヲモ期スルコトガ肝要デアルト存ズルノデアリマス、今我が國民ノ先天的素質ニ付キマシテ檢討ヲ加ヘテ見マスルニ、不健全ナル素質、殊ニ惡質ナル遺傳性疾患ノ素質ヲ有スル向ガ、漸次増加スルノ傾向ガ見エラルノデアリマス、是等ノ遺傳性惡疾ガ遺傳ヲ致シマシテ、子孫ニ其ノ發病ヲ見マスルコトハ、實ニ患者又ハ患者ヲ有スル家族ノ悲慘ナル苦惱トナルノミナラズ、之ヲ國家的ニ見マシテモ、斯ノ如キ惡質ナル素質ガ遺傳シテ行キマスナラバ、將來ノ國家發展ノ上ニ、洵ニ憂慮スベキ事態ガ齎サレルコトニ相成ラウカト存ズルノデアリマス、以上述べマシタ如キ理由ヲ以テマシテ、本法案ヲ提出スルニ至ツタ次第デアリマス

本法案ニ於キマシテハ、惡質ナル遺傳性疾患ノ素質ヲ有スル者ハ、綿密ナル審査ヲ受ケマシテ後ニ、必要ト認メラルル時ニハ、優生手術、即チ生殖ヲ不能ナラシムル手術ヲ

受ケ得ルコトヲ認メタノデアリマシテ、之ニ依ツテ惡性ノ遺傳的素質ガ、將來ノ國民ノ中ニ増加スルコトヲ防止セントスルモノデアリマス、尙ホ是ト關聯致シマシテ、避妊手術又ハ妊娠中絶等ノ如キ行爲ヲ濫用セラレマスルコトヲ嚴重ニ取締リ、以テ健全ナル素質ヲ有スル國民ノ人爲的ノ減少ヲ致シマスル原因ヲ除キ、人口増加ニモ資セントスルノデアリマス、本法案ノ如ク惡質ナル遺傳性疾患ヲ防遏スルコトヲ目的トシタ法案ハ、第六十五回、第六十七回、第七十回、第七十三回、第七十四回ノ帝國議會ニ於キマシテ、五回ニ互ツテ、民族優生法案ナル名稱ノ議員提出ノ法律案ガ、本院ニ於テ議題トセラレマシタ、右ノ中第七十四回議會ニ於キマシテハ、本院ニ於テ一度可決セラレマシテ、貴族院ニ送付サレタヤウナ次第デゴザイマス、政府ニ於キマシテハ、本案ニ對シテ事ノ慎重ヲ期シマスル爲ニ、昨年設置ヲ見マシタ國民體力審議會ニ要綱ヲ諮問致シマシテ、同委員會ニ於テハ慎重審議ノ後ニ、昨年末其ノ答申ヲ見ルニ至ツタノデアリマス、本法案ハ此ノ答申ニ基キマシテ立案致シタ次第デゴザイマス、何卒慎重ニ御審議ノ上御協賛アラントヲ希望スル次第デアリマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 質疑ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許シマス——村松久義君

(村松久義君登壇)

○村松久義君 只今上程ノ國民優生法案ニ關シ、二三ノ質疑ヲ致シタイト存ジマス、本法案ノ要旨トスル所ヲ同ジクスル民族優生法案ハ、吾々同志ニ依ツテ屢、此ノ議場ニ現ハレ、昨年本院ヲ通過スルニ至ツタノデアリマシテ、茲ニ政府ガ多數ノ有識者、専門家ヲ網羅シタル所ノ一大調査會ヲ經テ、本案ヲ提出ヲ見ルニ至リマシタコトハ、私共トシテ洵ニ喜ビニ堪ヘザル所デア

ルノデアリマス、唯併シナガラ本案ハ言フ

マデモナク、人口ノ増加ト云フ觀點ニ立チマスル限り、一ツノ消極的ノ方策デアアルノデアリマシテ、今日人口ノ増加ヲ要スルコト急ナル場合ニ於テハ、勢ヒ他ノ人口増加ノ積極政策ガ伴フノデナケレバ、其ノ完全ヲ得ルコトガ出来ナイコトハ、言フマデモナイノデアリマスルガ故ニ、此ノ法案ト竝行シテ、或ハ相補ツテ、人口増加ニ關スル幾多ノ施設ガ用意セラレテ居ラナケレバナラナイコトハ、言フマデモナイト思ヒマスルガ故ニ、此ノ觀點ニ立ツテ、政府ニ二三ノ質疑ヲ致シテ見タイト思フノデアリマス

其ノ第一ハ、多數兒童ヲ有スル家族ニ對スル保護ノ對策デアリマス、寔ニ政府ハ多數兒童家族ニ對シテ、月給七十圓以下ノ下級俸給者ニ對シテハ、月二圓ノ手當、所謂家族手当ヲ支給スルコトニ致サレタノデアリマスルシ、又税制ノ改革ニ於テ、第三種所得税ニ、扶養家族ニ對スル控除額ノ定ヲセシメテ居ルノデアリマスルガ、斯ノ如キ程度ヲ以テ、果シテ眞ノ人口増加ノ急ニ應ジ得ベキモノデアラカドウカ、識者ノ共ニ疑フテ居ル點デアアルノデアリマス、申上グルマデモナク、今日人口ノ増加率ガ漸次減退ヲ致シテ參リマシタコト、動モスレバ日本ノ人口ガ減少スルノデハナカラウカト思ハレマスル如キ、極端ニ至ツテ參リマシタ場合ニ於テ、斯ノ如キ極メテ少額ナル支給ヲ以テ、能ク其ノ人口増加率ヲ維持シテ行クコトガ出来ルカドウカ、吾々ハ茲ニ鑑ミル所ガアリマシテ、我黨ノ政策トシテ決定シタルモノガアルノデアリマス、第一ハ、結婚ノ獎勵策ヲ國家ノ施設トシテ思切ツテ之ヲ行ハナケレバナラナイ、中ニハ晩婚ノ防止ヲシナケレバナラナイ、獨身税ヲ賦課スルコトニ依ツテノ結婚ノ獎勵、或ハ結婚資金ヲ貸與スルコトニ依ツテノ獎勵、斯ノ如キモノガ、此ノ人口減少ノ傾向ノ見エツツアル今日ニ於テ、ドウシテモ之ヲ行ハナケレバナラ

ト云フコトヲ主張致シテ來テ居ルノデアリマス、殊ニ多數兒童家族ノ保護對策ヲ致シマシテハ、税制改革ニ於テモ其ノ徹底ヲ期サナケレバナラナイ、賃銀及ビ俸給政策ニ依ル所ノ保護モ期セナケレバナラナイ、教育費ノ國庫負擔ニ依ル所ノ多數兒童家族ノ教育費ノ低減、或ハ兒童保險ノ創定ニ依ル、兒童ニ對スル保險ヲシナケレバナラナイト云テ、各種ノ積極的對策ヲ以テ、之ヲ行ハナケレバナラナイ時代ニ達シテ居ルト、私共ハ斯様ニ觀察ヲ致シテ居ルノデアリマス、然ルニ申上グルマデモナク今日生活難、社會不安ヨリ來ル所ノ產兒ノ制限ハ、想像以上ニ瀰漫致シテ居リマシテ、斯ノ如キ產兒制限ノ瀰漫ガ、若シ將來モ繼續致シテ行クナラバ、歐洲諸國ニ見ルガ如キ、人口ノ減退モ生ズルノデハナカラウカト、私共洵ニ憂慮ニ堪ヘナイノデアリマス、我ガ日本民族ノ人口減少ノ傾向ガ現ハレテ居ル其ノ半面ニ、我國ノ境ヲ接スル支那、ソ聯邦、此處ニ於テハ我ガ日本ノ人口増加率ヲ遙カニ凌駕スル所ノ、大人人口増加率々々現ハレテ來テ居ルノデアツテ、私共ハ今日マデハ人口ノ増加ヲ誇ツテ居ツタ、過剰人口ノ始末ニ困ツテ居ツタ、此際ニ東亞ノ新秩序ニ入ラントスル私共日本ガ、隣邦ニ斯ノ如キ國ヲ持チ、而シテ日本ノ人口ノ減少ガ年々現ハレテ來テ居ルト云フ事實ニ對シテ、餘程徹底シタル保護ノ對策ガ施サレナケレバナラナイト云フコトヲ、痛感セザルヲ得ナイノデアリマス、吾々ハ目前ノ問題ニ付テモ、解決スベキ多クノモノヲ持ツテ居リマス、食糧ノ問題、石炭ノ問題、其ノ他吾々ガ目前解決ヲシナケレバナラナイ幾多ノ問題ハアリマスレドモ、之ヲ解決スルト同様ニ、或ハヨリ以上眞ノ民族政策ガ確立セラレテ、此ノ人口ノ減少ガ防止セラレルノデナカッタナラバ、果シテ東亞ノ新秩序ガ出來ルカドウカ、國家百年ノ大計ヲ考ヘテ、

政府ハ此ノ點ニ對シテ優生法ヲ施行スルト共ニ、十分ニ考慮シテ、思切ツタ政策ヲ斷行セラレナケレバナラナイト云フコトヲ思フノデアリマス(拍手)此ノ點ニ關シマスル政府ノ御所見ヲ第一ニ承リタイト存ジマス

次ハ花柳病ノ豫防對策ニ付デアリマス、昨年ハ御承知ノ如ク、我ガ人口ハ三十萬餘リ、例年ヨリモ其ノ増加ガ減少致シタノデアリマス、此ノ三十萬ノ中、出征將士ノ戰死セラレタル者ハ除イテアリマス、隨テ此ノ三十萬ノ減少ヲ見セケラレマシタル私共ハ、洵ニ驚愕ニ堪ヘザルモノガアツタ、其ノ原因ハ何デアアルカ、色々アルト思ヒマスガ、ソレヲ詳細ニ今論究スル邊ヲ有シマセヌガ、若シ花柳病ノ對策ガ完全ニ行ハレテ居ルナラバ、三十萬ノ減少ノ中、或ハ二十萬近クノ者ガ、之ヲ補ツテ餘リアルノデアリマス、例ヘバ手取早ク帝國統計年鑑ヲ出シテ拾ヒ上ゲテ見マスレバ花柳病ニ罹ツテ死者、生レテ直チニ死者、或ハ死シテ生レル者、一年以內ニ死者、斯ウ云フ者ヲ勘定シテ見マス、實ニ十四萬ノ多數ニ及ンデ居ルノヲ發見スルノデアリマス、其ノ外ニ直接間接梅毒ニ罹ツテ其ノ生命ヲ失ヒマスル者ハ、恐ラク五萬人ヲ下ラナイデアラウト思ヒマス、五萬人ヲ超エテ居ルト思ヒマスガ、内輪ニ見マシテ五萬人トスルナラバ、此ノ花柳病關係ニ於テ生命ヲ失フ者、全ク二十萬ノ多數ニ及ンデ居ルノデアリマス、ノミナラズ花柳病ニ罹リマシタルガ爲ニ、生殖ガ不能ニナツタト云フ人々ハ、恐ラク相當多數ニ上ルト思ヒマスガ故ニ、此ノ花柳病ニ依ツテ失ハレル人命ト云フモノハ、若シ政府ニシテ他ノ諸國ト同様ニ徹底ノ對策ヲ講ズルナラバ、速急ニ人口減少ヲ防ぎ得ル所ノ途デアアルノデアリマス、然ルニ花柳病豫防法案ガ成立致シマシテ、既ニ十年ニナツテ居リマス、サウシテ

一昨年漸ク政府ノ補助ニ依ツテ、地方公共團體ニ花柳病ノ療養所ガ出來タノデアツテ、其ノ數ハ今日漸ク百ヲ數ヘルニ過ギナイノデアリマス、斯ノ如ク法律ハアレドモ豫防治療スル所ノ施設ナク、而モ其ノ法律ガ不徹底ヲ極メテ居ルト云フノデアツテ、斯ノ如キモノヲ唯漫然ト何ノ改正ヲスルコトモナシニ放任シテ置ク所ノ結果ハ、一體ドウナルデアアラウカ、殊ニ今日時局産業ノ殷賑ナル方面ニ參ツテ見マスレバ、花柳病專門ノ醫者ノ門前ニ列ヲ作ツテ、其ノ治療ヲ待チ望ンデ居ル一羣ノ人々ヲ見ルノデアリマス、或所ニ於テハ午前七時ヲ以テ受付ヲ拒絕スルト云フ繁昌振リヲ示シテ居ルノデアリマス、斯ノ如クシテ人口ノ減少ガ、花柳病豫防對策ノ不徹底ト云フコトニ、重大ナル關係ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ考ヘテ參リマスルナラバ、吾々ハ大シタ費用デハナイトハ思ヒマスルガ、此ノ方面ニ向ヒマシテ、政府ハ思切ツテ支出ヲシテ戴カナケレバナラナイト云フコトヲ痛感致スノデアリマス、色々考ヘテ見マスレバ、是等ニ關シテモ申述ブルコトハアルト思ヒマスルガ、政府ハ花柳病豫防對策ノ徹底ナル施行ニ付テ、ドウ云フ御所見ヲ持ツテ居ルカ、之ヲ第二ニ承リタイト存ジマス

第三ニ伺ヒタイト存ジマスルノハ、精神病者ソレ自身ニ對スル對策デアリマス、日本ニ於テ今國民病ト言ハレテ居リマスルモノハ、第一ハ結核デアリマス、第二ハ花柳病デアリマス、第三ニ精神病デアリマス、結核ニ關シマシテハ、幸ニシテ世人ノ認識ニ上ルコト、最近甚シキモノガアリマシテ國家ノ助成金ニ依ツテ府縣ニ療養所ガ出來タ、又國家ノ療養所モ出來上ラントシテ居ル、畏多クモ御下賜金ヲ戴イテ、ソレムノ施設ガ出來上ラント致シテ居リマスルガ故ニ、私共ハ先ヅ結核ニ付テハ、治療豫防ニ付テ軌道ニ乘ツテ來テ居ルト云フ感ジラ

致スノデアリマス、花柳病ニ關シマシテハ、前申シマシタ通りニ未ダ十分ナルモノガナイ、然ルニ此ノ精神病ニ對スル對策ニ至リマシテハ、全ク何ノ對策モナト云ツテ宜シイヤウニ、放任セラレ放シニナツテ居ルデアリマス、昭和十三年ノ末精神病者ノ總計ガ九万幾ラト勘定セラレテ居リマス、本年ハ或ハモウ既ニ十萬ニナツテ居ルデアリマス、ハナカウカト思ヒマスルガ、此ノ十萬ノ精神病者ガ、ドウ云フ對策ヲ以テ世上ヨリ隔離セラレ、本人ガ保護セラレテ居ルカト云フコトヲ考ヘテ見マスレバ、御承知ノヤウニ精神病院法ナルモノガアル、然ルニ精神病院法ニ依ツテ作ラレタル所ノ公立精神病院ハ、全國ニ僅カ七ツシカナイデアリマス、其ノ他ハ代用病院ヲ以テオ茶ヲ濁シテ居ルト云フ現狀デアリマス、精神病院ニ對スル其ノ建設補助金ハ、今日マデハ一萬八千圓ノ程度ニシカ過ギナカツタデアツテ本年ノ豫算ニ依ツテ數萬圓ヲ増加致シタトハ申シナガラ、九牛ノ一毛ニシカ過ギヌデアリマス、斯ノ如ク致シマシテ、精神病者ヲ隔離保護スル所ノ施設ハ、十萬ノ精神病者ノ中、僅ニ二萬内外ニ過ギヌデアツテ、殘サレタル所ノ八萬ノ精神病者ハドウナツテ居ルカ、或者ハ其ノ家庭ニ於テ座敷牢ヲ造ツテ閉ジ籠メラレテ居リ、大部分ノ者ハ野放シニセラレテ居ルト云フ狀況デアリマス、有名ナル岡山ノ三十七人殺シ、澁谷ニ於ケル七人殺シ、是等ハ何レモ野放シニセラレタル所ノ、精神病者ノ發作的ノ行爲デアツタコトハ、御承知ノ通りデアリマス、最近ニ於キマシテ臺灣生レノ女學生ガ殺傷セラレタ、ソレヲ爲シタ者ハ恐ラク痴漢ノ行爲デアラウトハ、推定セラレテ居リマスモノ、未ダ犯人ハ逮捕セラレテ居リマセヌ、精神病者ヲ野放シニシナガラ、後ニ探索陣ガ如何ニ緊張ヲ致シマシテモ、結果ヲ未然ニ取返スコトハ不可能

デアリマス、而シテ其ノ探索ノ費用ガ莫大ナモノデアアル、愈、擱ヘテ見テ之ヲ刑罰ニ處セント致シマシテモ、精神病者ナルガ故ニ輕イ刑罰、或ハ無罪ノ言渡ヲ受ケル、斯ノ如キ反社會的ナル精神病者ガ野放シニセラレテ居ルコトハ、吾々國民ニ對スル不安脅威ト云フモノハ、言語ニ絶スモノガアルニ拘ラズ、斯ノ如キモノニ對シテ何等ノ對策ヲ持タズシテ、漫然ト警察探索ノ陣ニ之ヲ委セントスルガ如キコトハ、第一ハ精神病者其ノ人ニ對シテモ、洵ニ御氣ノ毒デアアルミナラズ、吾々社會ニ取リマシテモ、極メテ危險千萬デアルト云フコトヲ、痛感セザルヲ得ナイデアルガ故ニ(拍手)政府ハ之ニ對シテ如何ナル對策ヲ持ツテ居ルデアルカヲ御示ヲ願ヒタイト存ジマス

第四ニ私ノ御尋致シタイト思ヒマスルノハ、結婚制度ニ關スル問題デアリマス、御承知ノ如ク我國ノ結婚制度、之ニ關シテ法律ニ規定ナリマスモノハ唯民法ダケデアリマス、而モ其ノ民法ニ於テハ年齡ニ制限ヲ附ケテ居リ、近親結婚ヲ禁ジテ居ルダケデアツテ、ソレ以上ノ何モノヲモ規定ヲ致シテ居ラナイデアリマス、然ルニ大臣ノ御說明ニアリマシタ如クニ、精神病者ガ年々歲々非常ニ殖エテ行ク、其ノ殖エテ行ク者ガ結婚スルコトニ依ツテ、日本民族ノ素質ガ低下セントシテ居ルト云フ、此ノ御說明ヲ聽キマシテモ、何トシテモ精神病者ノ強度ナルモノニ對シ、遺傳ノ明確ナルモノニ對シ、反社會的ナル精神病者ニ對シテ、結婚ヲ禁止スルコトガ當然デナケレバナライ、或ハ極端ナル傳染病者ト云ツタヤウナモノニ對シテモ、相當ノ制限ヲ附サナケレバナラスデアツタス、斯ノ如キ者ニ對スル制限ト、優良ナル家系ニ對スル勸奨ト、兩々相俟ツテ、結婚制度ガ完備シナケレバナラヌコトハ、寧ロ時代ノ要求デアルト申シテモ差支ガナイデアリマス、之ヲ一言デ言ヘ

バ、結婚管理法トデモ申シマセウカ、或ハ優生結婚法トデモ申シマセウカ、結婚健康法トデモ申シマセウカ、何方スノ如キモノガナケレバナラスト思フデアリマスルガ、唯一ツ問題ニナリマスノハ、個人ノ自由ヲ束縛スル結果ニナルデアリマス云フ虞ガアリマスガ、私共ト致シマシテ、個人ノ自由ハ勿論之ヲ尊重シ助長シナケレバナラヌガ、今民族ノ素質ガ低下セントスル此ノ際ニ、私共ハ相當ニ考ヘテ見ル必要ガアリハシナイカト云フ點デアリマス、斷種法ガ世界相當多數ノ國ニ施行セラレテ居リマスルガ、結婚管理法ニ於テハ、ソレ以上ノ國々ニ於テ施行セラレテ居ツテ、施行セラレテ居ラナイ國ヲ勘定シタ方ガ早イデアリマス、日本ガ先ヅ第一ニソレデアリマス、佛蘭西ガサウデアリマス、白耳義ガサウデアリマス、ルルクセンブルグガサウデアリマス、巴拉ガイガサウデアリマス、タイガサウデアアル、埃及ガサウデアアル、支那ガサウデアアル、結婚管理法ノ行ハレテ居ラナイ國ハ、唯是ダケニ過ギヌデアアル、何處ノ民族モ、何處ノ國モ、其ノ民族ヲ眞ニ保護セントスル所ノ氣持ガ明瞭ニ現ハレテ居リマス、隨テ政府ニ於テモ何等カ之ニ對シテ考慮ヲ拂ハナケレバナラスト思フデアリマスガ、優生法ノ施行ト、此ノ結婚制度ノ完成ト、兩々相俟ツテ車ノ兩輪ノ如ク進メテ行クベキ所ノ必要アリト思フガ、政府ノ所信如何ト御尋ヲ致シテ置キタイト存ジマス

時間ガナクナツテ參リマシタカラ、項目ダケ更ニ御尋ヲ致シテ見タイト思ヒマス、本法案ノ内容ニ付テニ三御尋ヲ致シテ見タイト存ジマス、理由ハ申上ガマセヌカラ、御說明ヲ一ツ願ヒタイト存ジマス、此ノ制度ヲ實施スルコトニナリマス、世人ノ中色々疑念ヲ持ツテ居ラレルコトガ數點アルト思ヒマス、第一ハ、今日ノ學問ノ程度ヲ

以テシテ、本法案ニ示サレテ居ル如クニ、果シテ眞ノ遺傳ナリヤ否ヤ、強度ナリヤ否ヤ、惡質ナリヤ否ヤガ判明スル程度マデ、學問ガ進歩ヲ致シテ居ルカドウカト云フコトガ、第一ノ疑念デアリマス、第二ニハ、天才ト狂人ハ紙一重デアルト云ハレルガ、狂人ヲ失フコトニ依ツテ、天才ヲモ併セテ失フ虞ガナイカ、此ノ點ガ第二デアリマス、第三ニハ日本ハ家族制度ノ國デアアルガ、子種ヲ失フコトニ依ツテ、先祖ノ祀リハ誰ガスルカ、固有ノ家族制度ノ精神ヲ破壊スルモノデアリカト云フ虞デアリマス、第四ニハ、精神病ナドハ將來醫學ガ進歩發達スルニ從ツテ、之ヲ治療スルコトガ出來ルコトニナルカモ知ラスデアアルガ、今日ノ醫學ノ發達ノ程度ニ於テハ、直チニ男子ヲシテ將來取返シノ付カス狀態ニナル虞ハナイカ、斯ウ云フヤウナコトガ、本法案實施ニ關スル色々ナ疑問トナツテ現ハレテ居ルト思フデアリマス、理由ハ申シマセヌガ、之ニ對シテ一般世人ノ疑惑モアルト思フ、又專門學者ノ中ニ於テモ、左様ナ見解ヲ持ツテ居ル人モアルト聞イデ居リマスガ、政府ニ於テ明快ニ御說明アラントラ希望致シテ置ク次第デアリマス(拍手)

(國務大臣吉田茂君登壇)

○國務大臣(吉田茂君) 村松君ノ御質疑ニ對シマシテ、御尋ノ順序ニ從ヒマシテ御答ヲ申上ゲマス、先ヅ最初ニ、此ノ優生法案ハ、健全ナル人口増加ト云フ觀點カラ見レバ、消極的ナ勵キヲ主トシテ爲スモノデアルニ付テハ、積極的ナ健全人口ノ増加ト云フコトニ對スル施設ガ、併セ用意セラレルノデナケレバナラナイト云フ御趣意ハ、洵ニ御同感ニ存ジマス、其ノ第一トシテ、子供ノ多イ家庭ニ對スル方策ガ、今日ノ如クデハ不完全デアリカ、先般施設致シマシタ家族手當、或ハ現ニ御審議中デアリマスル第三種所得ノ控除等ノ制度ダケデハ、不

十分デハナイカト云フコトデアリマス、政府ニ於キマシテモ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、ソレデ十分デアルトハ考ヘテ居ラナイ次第デゴザイマス、一方村松君モ御指摘ニナリマシタ通りニ、近時人口ノ自然増加率ト云フモノハ、極メテ徐々ニデハアリマスルガ、ズツト引續キ減少ノ傾向ヲ迪ツテ居ルデアリマス、又此ノ事變ノ影響ヲ受ケマシテ、急激ニ其ノ點ハ憂慮スベキ減少ノ傾向ト云フモノヲ示シテ居リマス、何ト致シマシテモ、我が民族ノ發展ノ爲、又興亞ノ大業成就ノ爲ニハ、健全ナル國民ノ増殖ト云フコトガ、其ノ根柢ヲ成スモノデアルト考ヘマス、結婚獎勵ノ方策、或ハ兒童保護施設、或ハ近來漸ク其ノ惡弊ヲ實際ノ上ニ認メラレルニ至リマシタ産兒制限ト云フコトニ付キマシテノ解除、諸々ノ方策ヲ工夫ヲシ、之ヲ速ニ實踐スルコトガ必要デアルト考ヘルノデアリマス、ソレ等ノ詳細ニ付キマシテハ、他ノ機會ニ何レ御教ヲ仰ギタイと思フノデアリマスガ、ソレ等ノ諸問題ト併セテ、最モ力強ク此ノ積極的對策ト云フモノヲ、實施セネバナラヌト考ヘテ居リマスル點ヲ、明ニ致シテ置キタイと思ヒマス

次ニ花柳病豫防、花柳病對策ニ付テノ御尋デゴザイマシタ、花柳病モ洵ニ恐ルベキ國民的疾患ト致シマシテ、其ノ根本的解決ヲ要シマスモノノ一ツデアリマスルコト、御指摘ニナリマシタ通りデアリマス、是亦洵ニ憂慮スベキコトニハ、最近ノ時局ニ伴ヒマシテ、從前ニモ増シテ蔓延ノ兆ナルコトヲ私共心付イテ、實ニ深憂ニ堪ヘヌ次第デアルト考ヘテ居ルデアリマス、從前ノ法制或ハ此ノ法制ヲ運用スルニ付テノ施設等、決シテ満足トハ言ヘナイ狀態デゴザイマス、是等ニ付キマシテハ法制ヲ改正シ、施設ヲ充實スルコトノ必要ヲ認メマシテ、目下改善方ノ調査中デゴザイマス

全然御質問ノ趣意ト感フ同ジウシテ、目下工夫ヲ致シテ居リマスカラ、左様御諒願ヒタウゴザイマス

精神病者ノ對策、收容施設ノ貧弱デアリマスコト、又精神病者ガ放置セラレテ居ルコトガ、御當人ハ固ヨリコト、大キナ社會的不安ヲ爲シテ居ルコト、是モ洵ニ村松君ト私共憂ヲ等シウスル點デゴザイマス、政府ノ其ノ方面ノ施設ハ、若干收容施設ノ補助ノ増額等ヲ認メタノデアリマスガ、決シテ十分ハ申セナイノデアリマス、精神病ニ付キマシテハ、新シイ治療方法等モ發見セラレテ居ルヤウデゴザイマス、成ベク早期ニ之ヲ發見ヲシ、治療ヲシ、又適當ナ監護收容ノ施設ト云フモノヲ、充實スルコトノ上ニ於キマシテハ、出來得ル限りノ力ヲ盡シタイト考ヘル次第デゴザイマス

次ニ結婚制度ニ付テ、法制ヲ以テ之ヲ規定スル考ヘナイカト云フ御尋デゴザイマス、優良ナ素質ヲ持ツテ居ル人々ガ結婚シテ、優良ナ子孫ヲ澤山ニ産ミ殖シテ參ルト云フコトノ大切ナコトハ、申スマデモナイノデアリマス、御質問ノ御趣意ニ付キマシテハ私共モ御同意デゴザイマスガ、之ヲ法制ヲ以テ、或種ノ人々ノ間ノ結婚ヲ禁止シ、或ハ制限ヲシ、又ハ或種ノ人々ノ間ノ結婚ニ干涉スル、所謂法制ノ力ニ依ツテ結婚ノ管理ヲスルト云フヤウナコトニナリマスルト、隨分慎重ニ考慮セネバナラヌ難問題ヲ幾多含シテ居ルト思フノデアリマス、輕々ニソレ等ノ制度ヲ實施シテ宜シイカドウカト云フコトニ付キマシテハ、未ダ確信ヲ得ナイノデアリマス(ヒマノ)是ハ質問ノ御趣意ヲ尊重致シマシテ、篤ト考究ヲサセテ戴クコトニ致シタイト存ジマス

次ニ遺傳性ト云フモノハ確實デアアルカドウカト云フ、一般世間ノ疑惑ニ付テ、ドウ思フカト云フ御尋デゴザイマス、遺傳ニ關スル學問、或ハ優生ニ關スル學問等ハ、固ヨ

リ今後モ進歩ヲ續ケルコト考ヘマス、又是非進歩セネバナラヌコト考ヘマスガ、此ノ法案デ目付テ致シテ居リマスル、又立案ノ基礎ニナツテ居リマスル範圍ニ於キマシテハ、遺傳ノ確實性ト云フモノハ、今日ノ學問ニ於キマシテ十分ニ安心シテ、ソレニ立脚シ政策ヲ講ジ得ルモノト考ヘテ居リマス、是等ハ專門ノコトニモ涉リマス、詳細シイコトハ又別ノ機會ニ政府ノ所見ヲ申上ゲルコトガアラウト思ヒマス、結論ダケヲ申上ゲテ置キマス

次ニ天才ト精神病ノ關係ニ付テ、御疑問ノ御話ガゴザイマシタ、諺ニ、丁度御指摘ニナリマシタヤウニ、天才ト氣狂ヒハ紙一重ダト云フコトヲヨク申シ傳ヘラレテ居リマス、又左様ナ事例ガナイコトモナイノデアリマスガ、學問研究ノ結果ニ依リマス、天才ト氣狂ヒ、精神病ト云フモノガ、必然ニ關聯性ヲ持ツテ居ルモノデハナイト云フコトガ、實證セラレテ居ルノデアリマス、但シ精神病ノ人デアツテ、同時ニ天才トシテノ優良素質ヲ兼ネ併セテ居ル場合モ、是ハアリ得ルノデアリマス、隨テ天才ト精神病ト直接ノ關聯ニアリマセズトモ、左様ナ精神病者ノ遺傳性ノ精神病者ニ對スル優生手術ヲ行フコトニ依リマシテ、優良素質ヲ合併セテ失フコトハ、慎重ニバナラヌト云フ考ヲ以チマシテ、左様ナ優良素質ヲ併セテ居ル者ニ對シマシテハ、本法ニ依リ手術ヲ行ハナイコトト致シテアルノデアリマス、是モ詳細ハ他ノ機會ニ於テ申上ゲタイト存ジマス

次ニ子種ヲ絶ツコトニ依ツテ、祖先ノ祭祀ヲ絶チ、我國ノ家族制度ヲ破壊スルデハナイカト云フ說ガアルガ、ソレニ付テドウ思フカト云フ御尋デアリマス、本法ノ對象トナル人ハ、洵ニ悲シムベキ惡質ノ遺傳性疾患ヲ持ツテ居ル人デアリマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、癡人同様ノ人々デゴザイマス、ソレ等ノ子孫ガ又遺傳ニ依リマシテ、同様ノ憂キ目ニ遇ハネバナラズ、又世間ガソレダケ迷惑セネバナラヌト云フヤウナ、極メテ限ラレタ已ムヲ得ナイ場合ニ、本法ノ發動ヲ見ルコトニナツテ居ルノデアリマシテ、祖先ノ祀リヲ傳ヘルト云フコトニ付キマシテハ、優良ノ人々ニ依ツテ祀リヲ傳ヘマス途ハ、養子其ノ他ノ制度ニ依ツテ開カレテ居ルノデアリマス、我國ニ於キマシテ、固ヨリソレ等ノ不仕合セノ家庭ニ於ケル祀リヲ絶ヤサズ、家系ヲ繋グト云フコトガ、古來ノ傳統ノ上ニ於テ、今日ニ引續イテ行ハレテ居ルノデゴザイマスカラ、ソレ等ノ我國ノ固有ノ制度ヲ立派ニ運用スルコトニ依リマシテ、只今申シマスヤウナ、家系ノ潰レテシマフト云フ風ナコトノ憂ハ、除カレルコトト考ヘルノデアリマス

次ニ精神病ハ治療シ得ルデハナイカ、ソレニ優生手術ヲ施シテ、其ノ系統ヲ早計ニモ今日斷ツト云フコトハ、少シ行キ過ぎデハナイカト云フ疑念ガアル、左様ナ意味ノ御尋デゴザイマシタ、精神病ノ治療ト云フコトモ、今日ハ或ル程度出來ルノデアリマスルガ、將來益、是ハ有效ニ行ハレルヤウニナラナケレバナラナイと思フノデアリマス、併シナガラ治療ガ完全ニ行ハレル場合ヲ、假ニ想像致シテ見マシテモ、其ノ人ノ精神病の素質ト云フモノハ、ヤハリ遺傳スルノデアリマス、御本人ガ治ツテモ、子孫ニハ又同様ノ不幸ナ人々ガ出テ來ル可能性ヲ持ツテ居ルト云フコトガ、遺傳學、優生學ノ建前ニ於テ明カナノデアリマシテ、其ノ點ヤハリ精神病ノ治療ニ努メネバナラヌト同時ニ、左様ナ劣等惡質ナ素質ガ永ク續クト云フコトニ對シテハ、ヤハリ適當ナ方策ヲ必要トスルコト考ヘルノデアリマス、ソレ等詳細ナ技術的ノ問題ニ付キマシテハ、何レ又委員會等他ノ機會ニ於キマシテ、詳細申上ゲルコトガアルト思フノデアリマス、只

今ハ概要ヲ御答ヲ以テ御諒承ヲ願フテ置キ
タイト存ジマス(拍手)

○議長(小山松壽) 會和義式君

(會和義式君登壇)

○會和義式君 只今議題トナツテ居リマスル
國民優生法案ニ付キマシテハ、私ハ多數ノ
疑義ヲ持ツテ居ル者デアリマスルガ、限ラレ
タル時間デアリマスルガ故ニ、數點ニ付キ
マシテ、私ノ重要ト思料シマスル點ニ付テ、
政府ノ所信ヲ質シタイト存ズルデアリマ
ス

本法案ヲ提出セラレタル所ノ目的ハ、
第一條ニ明デアリマシテ、一ハ惡質ナル遺
傳性疾患ノ素質ヲ有スル者ノ増加ヲ防遏ス
ルノガ目的デアツテ、今一ツハ、健全ナル素
質ヲ有スル者ノ増加ヲ圖ルト云フコトガ、第
二ノ目的ニナツテ居ル、然ルニ此ノ法案ヲ
通ジテ檢討シマシテモ、先程村松君モ言ハ
レマシタ通り、積極的ニ素質ノ健全ナル者
ノ増加ヲ圖ルト云フ方針ガ、何等ソコニ示
サレテ居ナイノデアアル、ノミナラズ、此ノ
積極的方面ヲ不問ニ付シマシテモ、消極的
方面、即チ惡質遺傳ヲ防遏スルニ今一ツノ
方法ガアル、ソレハ代ヲ重ネテ此ノ素質ノ
改善ヲ圖ルト云フコトデアリマス、諸君、我
國有史以來假ニ三千年ト致シマシテ、社會
通念ニ依リマスルコト云フ、三十年ヲ以テ一
トスル、然ラバ三千年ハ百代ニ相當スルノ
デアリマス、其ノ百代ノ間ニ漸次惡質ガ傳
播シ、遺傳サレ、或ハ傳染サレテ行ツタモ
ノデアアル、之ヲ二十年ヤ三十年、其ノ人
一代ヲ治サウト云フヤウナ、サウ云フ近視眼
的ナコトノミヲ考ヘテ居ルガ故ニ、方法ガ
タイト云ウテカラニ匙ヲ投ゲル、之ヲ二
三代、五代ニ互ツテ、惡質ノ遺傳ヲ改善シテ
行クト云フ考ヘ方ガナケレバナラス筈ダ、
然ルニソレヲ考ヘズシテ、唯惡質遺傳者
デアアルカラト云フノデ、直グニ斷種ヲスル、
此ノ法案ニ示サレテアルノハ、斷種ノ一ツ

シカナイ、然ルニ此ノ法案ヲ名付ケテ國
民優生法案ト謂フ、私ハ此ノ名稱ト此ノ法
案ノ内容トガ合ハナイと思フ、此ノ法案ハ
此ノ名稱ノ示ス總テヲ内包シテ居ナイト云
フコトヲ私ハ言フデアアル、斯ノ如キ唯名
稱ノ問題ノミヲ申シマスルナラバ、或ハ人
之ヲ輕ンズルカモ知レマセスガ、私ノ信ズ
ル所ニ依リマスレバ、日本人ハ古來名ヲ重
ンズル、名分ヲ尊ブノデアリマス、然ルニ
今日程我ガ日本ノ國民ガ、名ト云フモノニ
對シテ比較的無關心ナ時代ハナイと思フ、
即チ名ヲ輕ンズル、此ノ思想ハ、日本古來
ノ思想ニ反スルモノデアアル、而シテ今日我
ガ國民思想ノ統一セラレザル、主トシテ此
ノ名分ヲ正サザルニ因ルモノダト私ハ考ヘ
テ居ル、若シ社會各人ニシテ自己ノ名分ヲ
守リ、其ノ本務ヲ盡スニ於テハ、國民再組
織運動モ必要ハナイ、國民精神作興モ立
コロニ出來ルノデアアル、隨テ是ハ單ニ吾々
人間ノ名前ノミナラズ、政府ノ施設スル所、
總テ爲ス所ト名目トガ一致シナケレバナ
ライ、然ルニ今後此ノ法案ガ通過致シマシ
テ、一箇ノ法律トナツテ社會ニ出タ時ニハ、
理解アル人ハ、實ニ此ノ法律ナルモノハ、
羊頭狗肉デアアルト叫ブニ違ヒナイ、又理解
ノナイ人ハ、優生方法トハ是ダケシカナイ
モノデアアルト感ズルニ違ヒナイ、モット根
本ナル、モット重要ナル優生方法ガアルニ
拘ラズ、ソレヲ考慮セズシテ、惡質ハ直チ
ニ種ヲ斷ツテ、後ヲ斷ヤシテシマヘバ、ソ
レデ宜イト云フ此ノ考ヘ方ハ、諸君、猶太
系統ノ考ヘ方デアアル(拍手)日本精神デハア
リマセス、之ニ對スル厚生大臣ノ御所見ヲ
伺ヒマス

次ニハ既ニ今大體觸レタノデアリマスル
ガ、斷種ト云フコトガ、我ガ日本精神ニ反
スルモノデアアルト云フコトヲ、他ノ方面カ
ラ説キタイ、ソレハ我ガ日本ノ國ハ一元の
ノ家族國家デアアル、即チ邇レバ總テ同一血
統カラ出テ居ル、諸君、吾々オ五ニ二名ノ
父母ヲ持ツ、此ノ二名ノ父母ヲ造ル爲ニハ、
四名ノ祖父母ガ要ルノデアリマス、四名ノ
祖父母ヲ生ム爲ニハ、八名ノ曾祖父母ガ要
ツタ、斯クシテ之ヲ十代前ニ遡リマスナラ
バ、今日現在ノ一人ノ人ヲ生ム爲ニハ、十
代前ニハ千二十四人ノ人ガ要ル、二十代前
ニハ、諸君、驚クナカレ百四萬八千幾ラト
云フ人ガ要ル、更ニ三十代遡レバ十億七千
三百萬人要ル、隨ヒマシテ當時斯様ナ人口
ハ居ナイ、居ナイノハ何故デアリマスカト
云フト、十代、十數代遡ツテ、ソコ段々
重ナリアツテ、ズツト上代ニ遡リ、元ガ
一ツニナツテ居ル、網ノ目ノ如キモノデ
アルト、私ハ斯様ニ考ヘテ居ル、日本ノ
現在ノ國民全體ヲ眺メマスナラバ、投網
ノ目ノ如キモノデアアル、隨テ吾々ノ血統
ト云フモノハ、全國民濃カレ薄カレ全部
繋ツタモノデアアル、其ノ網ノ目ノ一ツニ惡
質ガアルカラト云ツテ、ソレヲ直チニ斷
種シテ頼ミナイト云フコトハ、我ガ國民
性ノ特質——即チ我ガ國民ハ古ヨリ一匹
ノ獸、一羽ノ鳥、這フ蟲ノ一匹ニモ惻隱ノ
心ヲ持チ、其ノ生命ヲ重ンズルト云フノ
ガ日本ノ國民性デアアル、然ルニ次代ヲ繼グ
ベキ所ノ、小サキ魂ガ生レ出ツベキ可能性
ニ置カレテ居ル時ニ之ヲ斷ツ、斯ノ如キ考
ヘ方ハ、決シテ是ハ日本主義デハナイト考
ヘルノデアリマス、勿論斯様ナ惡質者ハ、
大體ニ於テ子ヲ生ム可能性ハ甚ダ少イ狀
態ニ置カレテ居ル、隨テ斷種ト云フコトヲ
シナクテモ、自然ニ天ノ攝理ニ依ツテ斷
種サレタモ同ジ結果ニナル、極ク少數ノ
者ニ至ツテハ子ヲ生ムコトガ出來ル、併
シナガラ之ヲ育テテ、之ヲ保護シテ、サウ
シテ先程申シマスル通り、數代ニ互ツテ
其ノ血統ヲ淨化シテ圖ルト云フコトニ努力ス
ルナラバ、私ハ決シテ之ヲ變質改善スルコ
トハ、不可能ナコトデハナイと思フ、然ル

ニ政府ニ於テハ結核ト云ハズ、或ハ癩病ト
云ハズ、或ハ花柳病ト云ハズ、國民ノ之ニ
罹ツテ居ル者ヲ治療スル機關ノ完備ヲ圖ラ
ズシテ——完備ヲ圖レト言ウタナラバ、必
ズ是ニハ財政ガ伴フカラ困難デアリマス
言フニ違ヒナイ、金ノ要ルノガ恐シイカラ、
サウ云フヤウニ血筋ヲ斷ツテ、ソレデ國家
ノ仕事ガ盡セリト考ヘルナラバ、私ハ是ハ
實ニ恐シキ思想デアルト考ヘテ居ル、是ハ
寧ロ今後日本ノ如ク生々發展スル國家トシ
テノ考ヘ方デハナイ、大正十年頃ニ日本ノ
國デハ「サンジカリズム」ガ隨分蔓延シタ、
產兒制限ガ宣傳サレタ、其ノ時ニ私ハ或人
等ノ制限セントスル思想ガ魂ノ底ニアル以
上ハ、將來君等ノ子孫ハ絶エルニ決ツテ居
ル、サウシテサウ云フ思想ヲ本當ニ熱望シ、
心ノ底カラ產兒ヲ制限シタイト云フヤウナ
私カラ言ヒマスナラバ勿體ナイ考ヘ方、左
様ナ考ヘ方ヲスル者ハ、必ズ將來君等ノ家
系ハ絶エテシマフ、子孫ハ滅ビテシマフニ
違ヒナイト私ハ明言シタ、子供ノ生レルノ
ハ、人ガ生ムノデハナイト云フ考ヘ方ガ、
日本ノ考ヘ方デアリマス、氏神様カラ授ツ
タト云フ考ヘ方デアアル、ダカラ其ノ妊娠シ
タモノヲ生マセテ育テタナラバ、健全ナ子
ニナルカモ知レナイモノヲ、生マセナイヤ
ウニスル、更ニ女子ガ妊娠中デアツタナラ
バ、之ヲ妊娠中斷ヲサセルト云フコトガ、
本法案ノ第十四條ニ出テ居ル、折角妊娠シ
タモノヲ何ガ爲ニ中斷スルノカ(笑聲)ソレ
ハ生マセタラドウカ、生マセテ育テ見レ
バ、不幸ニシテ惡質遺傳ノ家ニ生レ、或ハ
惡質遺傳ノ人ノ腹ニ宿ツタト云ハ云ヘ、邇
レバ神代ヨリ傳ツタ血筋ヲ持ツテ生レテ來
ルモノデアアル、淨化サレナイト斷言スルコト
ガ出來ヤウカ、國ハ神國ナリ、道ハ神道ナ
リ、民ハ神裔ナリト云フコトヲ古人ハ言ツ
テ居ル、畏多イケレドモ、吾々ノ如キ民モ

昔ニ週レバ神ノ御末デアル、ソレヲ斷種スルト云フコトハ、先程モ申シマシタ通り、徹頭徹尾猶太思想デアル、猶太系ノ輓近ノ醫學カラ出タ所ノ考ヘ方デアル、デアリマスカラ政府ハ斯ウ云フ考ヘ方ヲ、更ニ能ク御考慮ナサツテ、十分練ラレル必要ガアルト私ハ考ヘルノデアリマスガ、ソレニ對シマシテ厚生大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

第三番目ハ、第五條ニ依リマスルト、此ノ優生手術ヲ受ケルコトヲ申請スル中ニ、醫師モ亦本人ノ承諾ヲ得テ申請スルコトガ出來ルト云フコトニナツテ居ル、醫術ニ從事セラレル諸君ガ、人間ノ生命ニ直接關係ノアル聖業デアルコトハ申スマデモナイ、殊ニ斯ノ如キ重大ナル、其ノ人ノ血統ヲ絶ツテシマフト云フ事業ニ參加セラルルニ至ツテ、醫師諸君ノ責任ナルモノハ、私ハ洵ニ重大デアルト思フ、此ノ點カラ考ヘマシテ、今日世上ノ醫師諸君ヲ見渡シマスル時ニ、人格高潔ナル士多ク居ラレルコトハ勿論デアリマスルガ、又一部ニ於テハ、殆ド精神的ナルモノガ如何ナルモノデアルカラスラ、解シテ居ナイヤウナガ中ニハ居ラレル、ソレハ何故デアルカ、最近ニ於ケル青年學徒ガ、其ノ醫學ヲ教授サレル時ニハ主トシテ「ライヘン解剖」死體ノ解剖ニ依ツテヤラレル、基礎解剖、病理解剖ハ勿論「クリーニク」ニナリマス、臨床實習ハヤリマスケレドモ、ソレマデニ於キマシテ、基礎モ病理モ總テ死體ヲ以テ教ヘラレル、死體ヲ以テ習ウタ學問デ、マダ生キテ居ル人ノ病氣ヲ診ル學問ヲ習フ、併シソレモ分ルデアリマセウ、分リマセウガ、常ニ死體ヲ以テ單ナル物質トシテ彼等ハ扱ツテ居ル、彼等學徒ガアノ死體カラ死體ヲ引出ス状態、ソレヲ解剖シテ行ク時ノ状態ヲ見タ時ニ、ソレガ嘗テ靈ノ宿ツタ萬物ノ靈長デアル人間デアツタト云フ考ヨリモ、寧ロ一ツ

ノ試驗臺ニ載ツタル單ナル物質トノミ見テ居ル、隨ヒマシテ此ノ西洋カラ傳ハツタル近代醫學ノ考ヘ方、物質的ノ考ヘ方、靈的ノ考ヘ方ノ少シモナイ考ヘ方ガ、總テ彼等ノ中ノ左様ナル物質的ニ物ヲ考ヘタガ爾傾向ヲ持ツテ居ツタ人々ニハ、尙更拍車ヲ掛ケテ、全ク唯物的ナ人ニシテシマフ、而モサウ云フ人々ノ判斷ニ依ツテ、此ノ大切ナル斷種ヲ行フ所ノ決定ヲサレル、或ハ申請ヲサレルト云フコトニナルナラバ、私ハ洵ニ恐ルベキモノガアルノデヤナイカト、寧ロ危懼ノ念ニ襲ハレザルヲ得ナイデアリマス、先程厚生大臣ハ、此ノ法案ヲ提出スルニ當ツテハ、慎重ヲ期スル爲ニ國民體力審議會ノ議ヲ經タト云フコトヲ述ベラレマシテ、如何ニモ其ノ審議會ノ審議ヲ經タコトガ、權威ノアルモノノ如ク仰セラレル、私ハ其ノ審議會ノ「メンバー」ガ如何ナル人々ニ依ツテ結成サレテ居ルカハ、不幸ニシテ存ジマセスコトハ洵ニ遺憾デハアリマスルガ、併シナガラ先程來段々申シマスル通り、今日一ツノ學問、或ハ一專門ノ權威者ト云ハレル人ガ、果シテ私ガ言フ通り、日本精神ト云フモノヲ眞實ニ解シテ居ル人バカリデアルカドウカ、寧ロ左様ナ人ニ比較的日本精神ノ薄イヤウナ

崇高ナル靈的情操ト申シマスルカ、靈ニ關スル所ノ尊ブベキ日本古代ノ思想ト云フモノヲ御持チノ人ガ、却テ少イノデヤナイカト私ハ思フ、シテ見レバ、單ニ其ノ人ノ專門ノ學術的ノ問題ニ付テハ、吾々ハ大イニ敬意ヲ拂フノデアリマスルガ、斯ノ如キ單ナル物質觀ノミヨリシテハ、決定シ得ラレナイ事項、況ヤ我國ノ國民性、我國ノ國體ニマデモ考ヲ及ボサナケレバナナイ、人ノ子孫ヲ斷ツト云フヤウナ、此ノ施設ニ參加セラレ、或ハ之ヲ審議サセラレル上ニ、果シテ遺憾ガナカツタカドウカ、私ハ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、隨テ今後

此ノ醫育ノ改善、即チ醫學生ヲ教養スル上ニ付テ大イナル改善ヲ施シ、モツト精神的ニ、モツト靈的ニ、日本古代ノ考ヘ方ニ付テ彼等ニ理解セシメル、左様ナル根本的改革ニ付テ、厚生大臣ハ何等カソコニ成案ヲ有シテ居ラルルカ、或ハ改革セントスルノ意思アリヤ否ヤノ御所見ヲ伺ヒマス、尙ホ細部ニ互リマシテハ、今後機會ヲ得マシタナラバ質問致スコトニシマシテ、私ノ質問ハ是デ一應打切りマス(拍手)

(國務大臣吉田茂君登壇)

○國務大臣(吉田茂君) 御答ヲ致シマス、此ノ法案ハ國民優生法案トナツテ居ルガ、名前ト内容ト違ツテ、單ニ消極的ナ法案デアツテ、消極的方面ノミヲ取扱フニ過ぎナイデアハナイカト云フ御話デゴザイマシタ、御指摘ニナリマシタ第一條ノ後半ニ於キマスシテ、積極的方面ヲ現ハシテ居ルノデゴザイマスルガ、其ノ現ハシテアリマスル意味ハ、條文中ニモアリマスルガ如ク、近來人口自然増加ノ率ガ段々低下シテ參リマスコトノ一ツノ原因ト致シマシテ、濫リニ避妊手術等ノ行ハレマスルコト、或ハ妊娠ヲ回避シヨウト云フ人心ノ動キノアリマスルコト、ソレ等ニ對シマシテ、故ナクシテソレ等ノ手術ヲ行ヒ操作ヲ行フト嚴罰ニ處スル、ソレニ依ツテ健全ナ者ノ段々殖エテ參リマスルコトヲ期待スルト云フコトガ、第一條ニ書イテアリマスル意味ノ積極方面デアリマス、固ヨリ其ノ二ツノ方策——第一條ニ書イテアリ、又此ノ法文中ニ載ツテ居リマスルダケノコトヲ以テ致シマシテ、健全ナ國民ノ益、殖エルト云フコトノ方策トシテ、ソレデ盡キルノデハナイコトハ、前質問者ニ對スル御答ヲ以テ申上ゲマシタ通りデアリマシテ、此ノ惡質遺傳ヲ持ツテ居ル人々ノ子孫ト云フモノガ傳ハリ、惡質ノ國民——ソレハ御當人ニ取リマシテモ、社會ニ取リマシテモ、洵ニ困ツタコトデゴ

ザイマスガ、其ノ原因ヲ除クト同時ニ、併セテ健全ナ國民ノ益、殖エテ參リマシテ、御國ノ無窮ノ發展ニ寄與シ得ル力ヲ養フ、其ノ事ハ決シテ此ノ法案ヨリ輕イト考ヘテ居ルノデハナイノデアリマシテ、總テノ左様ナ御指摘ニナツタ意味デ申セバ、消極ナ或ハ又積極ナ有ユル方策ヲ講ジマシテ、國力ノ増強ノ基礎ヲ培ハウ、斯様ナ趣意デゴザイマス、此ノ法案ヲ以テ參レバ、是ガデ最早日本國民ノ將來ハ安心ダト云フヤウナ意味デハナイノデアリマシテ、此ノ優生ト云フ文字ハ、私カラ申スノモ鳥辭ガマシイヤウデモゴザイマスルガ、是ハ遺傳ヲ基礎ニ致シマシタ學問デ、一ツノ專門語デゴザイマスノデ、優生ト云フ文字ガ使ツテアルカラ、是デ一切ノ日本ノ人口政策ハ片付クノダト、左様ナ意味デハナイノデアリマスノデ、其ノ點御諒承ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス

ソレカラ次ニ我國ノ國體カラ考ヘテ萬民皆同祖デアル、國民ハ網ノ目ノヤウニナツテ、サウシテ上代カラ今日ニ傳ツテ居ル、其ノ網ノ目ヲ中途デ何處カ一ツヲ斷ツト云フコトハ、洵ニ日本ノ社會構成ト申シマスルカ、國體ノ上デ考フベキコトデハナイカト云フヤウナ意味ノ御疑念デゴザイマシタ、丁度同ジヤウナ事例ヲ考ヘテ見マスルニ、其ノ網ノ目ノ中ニ一箇所腐蝕シテ居ツテ、ソレカラ後ニ來ル全局ノ網ノ力ト云フモノニ、非常ナ惡影響ヲ及ボサウト云フヤウナ所ヲ、是ハ修繕ヲシヨウト、マア申サバ左様ナ意味ノ法案デゴザイマシテ、最小限ニ止メテ、最モ弱點トナルベキ部分ニ對スル、已ムヲ得ザル方策トシテ、是ハ出來テ居ルマシテ、今少シ詳シク御理解ヲ得タイト考ヘテ居ルノデゴザイマスルガ、大體ノ考ヘ方ハ左様ナコトデゴザイマスラ、御諒承ヲ願ヒマス

次ニ醫師ノ申請權ト云フモノガ濫用セラ

ルル虞ハナイカ、今日ノ醫師ハ人體ヲ單ニ物質ト考ヘテ、其ノ靈性、靈ノ力ト云フモノヲ、一向知ラナイデハナイカト云フヤウナ御心配デゴザイマシタガ、固ヨリ我國ノ醫學モ、亦其ノ改善ノ必要ヲ力説セラレマシタ醫師ト云フコトノ上ニ於キマシテモ、今日ノ現狀ノ儘デ宜シト云フ譯デハナイノデアリマスノデ、ソレハ十分ニ改善セラレ、益、立派ナモノニ築キ上ゲラレテ參ラナケレバナラナイデアリマスルガ、此ノ法案ノ取扱ヒマスル範圍ハ、今日ノ醫師ノ取扱ヒマスル手術、今日ノ醫學ヲ以テ致シマシテ、最小限是ダケノ規定ヲ致シマスレバ、之ニ依ツテ害ヲ生ズルト云フコトデナクシテ、世ノ中ノ惡質遺傳ト云フ問題ヲ解決スルニ付キマシテ、弊害ノ生ジナイ限度ト云フモノヲ考ヘテ、立案シテアル次第デアリマス、尙ホ醫師ノ申請ハ、其ノ儘ニ直チニ適用セラレルノデアリマセズシテ、二審判度ノ慎重ナ審議機關ニ掛ケマシテ、手術ヲ行フベキカ否カノ決定ヲスルノデゴザイマスノデ、扱ハ極メテ慎重ニ致サネバナラスト云フコトハ、是ハ御心配ノ點ト私共モ考テ同ジウシテ居リマス、精々此ノ運用ニ付キマシテハ、慎重ナ用意、考慮ト云フモノハ、常ニ必要デアルト思フノデアリマス、此ノ適用ガ濫ニ流レルヤウナコトハ、嚴重ニ慎重ナバナラナイト思フノデアリマス

マシテハ、工夫、施設セネバナラスコトガ多々アルト考ヘルノデゴザイマス、是亦醫藥制度調査會ト云フ審議機關ガゴザイマシテ、此ノ機關ニ於キマシテ、醫育ノ刷新改善ト云フコトニ付キマシテモ、慎重ナ研究ヲ進メテ參ツテ居ルノデアリマス、今日マダ最終ノ結論ニ到達シテ居リマセスガ、人間ノ生命ヲ預リマスル醫術ノコトデゴザイマスカラ、單ニ御心配ニナリマスルヤウナ、物質的ナ方面ノミデナクシテ、精神のナ方面ニモ十分ナ理解識見ノアリマセル、本當ノ日本ノオ醫者様ラシイ、立派ナオ醫者様ガ出來上ルト云フコトハ、是ハ洵ニ大切ナコトデアアルト考ヘルノデアリマスカラ、其ノ方面ニ於キマシテハ、現在ノ醫學教育、醫育ノ刷新ト云フコトノ上ニ於キマシテハ、十分ニ考慮ヲ致シテ參リタイト云フ志ヲ持ツテ居ル次第デアリマス

○會和義式君 簡單デスカラ此ノ席デ發言ヲ御許シ願ヒマス

○議長(小山松壽君) 許可致シマス

○會和義式君 只今厚生大臣カラ答辯ヲ戴イタノデアリマスルガ、マダ私ノ諒解出來ス點ガ多々アリマスルガ、詳細ハ今後ノ機會ニ質問ヲ致スコトニ致シマシテ、私ノ質問ハ是デ終リマス

○議長(小山松壽君) 杉山元治郎君

○杉山元治郎君 登壇

○杉山元治郎君 私人只今上程ニナリマシタ國民優生法案ニ付キマシテ、少シク厚生大臣初メ内務、文部ノ大臣ニ質疑ヲ試ミタイト存ズルノデアリマス

吾々ハ曩ニ皇紀二千六百年ノ紀元ノ佳節ヲ迎ヘマシタ、是ハ歷代 天皇陛下ノ御稔威ニ依ルコト勿論デアリマスガ、一方我ガ大和民族ノ優秀性ヲ顯ハスモノトシテ、御同慶ニ堪ヘナイ次第デアリマス、今ヤ事變モ第四年目ニ入り、汪氏ヲ中心トスル新支那中央政府ノ樹立モ、眼前ニ迫ツテ居リ

マスルガ、時局ハ多々益、生産力擴充ノ必要ガゴザイマス、隨テ物的資源ノ必要モ痛感サレルノデアリマスガ、其ノ物的資源ヲ開發スル根源タル人的資源ガヨリ大切デアリマス、物的資材ハ急ニ造ルコトモ出來、又代用品ニテ間ニ合ハスコトモ出來マスガ、人的資源ハ左様ニ簡單ニ參ラスノデアリマス、ダカラ遠キヲ慮リ、常ニ人的資源ノ涵養ニ努メネバナラスノデアリマス、鵜ツテ我ガ民族ノ現狀ヲ見マスルニ、今大臣モ說明ニナリマシタヤウニ、近時著シク出生率ガ減少シテ居リマス、例ヘバ大正九年ニ人口千ニ對シ三六・二人出生シタモノガ、昭和十一年ニハ三〇・六人ト、五・六人減ジテ居ルノデアリマス、幸ニシテ死亡率モ低下シテ參ツテ居リマス、統計ニ依リマスモ、大正九年ニ人口千ニ對シ死亡率二・五・四人デアツタモノガ、昭和十一年ニ一・七・八人トナリ、七・六人減ジテ居リマスルガ、乳幼児ノ死亡率ハマダノ世界一ノ比率ヲ示シテ居リマス、死亡率ノ減少ハ、如何程衛生施設ガ完備シテモ、限度ガアリ停止スルノデアリマス、併シ出生率ハ一旦低下シタルメマスルト底止スル所ヲ知ラナイノデ、大イニ心ヲ用ヒネバナラスノデアリマス、又精神病患者ノ様子ヲ見マスルニ、昭和元年ニ六万四千九百人ノモノガ、六年ニハ七万三千七百三十一人トナリ、更ニ昭和十二年ニハ九万九千九百九十五人トナリ、近々十年餘リノ間ニ三万餘人ト云フ激増振リヲ示シテ居ルノデアリマシテ、民族衛生ノ上カラ憂フベキ狀態デアリマス、又壯丁體位ノ狀態ヲ見マスルノニ、是亦漸次低下シテ居リマシテ、受檢壯丁千人ニ對シマシテ、次ノヤウナ狀態デアリマス、大正十一年ニ甲種合格者ガ三百六十二人、第一乙種ガ二百二十八人、第二乙種ガ二百四十九人、丙種ガ二百十六人デアリマシタモノガ、昭和四年ニナリマスト甲種合格者三百人、第二乙種ガ百十八人、

第二乙種ガ二百四人、丙種ガ三百五人トナツテ居リマス、更ニ昭和十一年ニナリマスト甲種合格者二百九十七人、第一乙種ガ百十五人、第二乙種ガ二百五人、丙種ガ三百十八人トナツテ居リマス、右ノヤウニ甲種並ニ第一乙種ハ減ジテ、第二乙種、丙種、丁種等ノ不合格ノ青年ガ、年々非常ナ勢ヲ以テ増加シテ居ルノデアリマス、是ハ國家ノ前途洵ニ寒心ニ堪ヘナイモノデアルト言ハネバナリマセス、而シテ此ノ丙種、丁種等ノ大キナ原因ヲ成シテ居リマスモノハ、筋骨薄弱デアツテ、最近ノ例ニ於キマシテモ、昭和七年ニハ壯丁ノ三割一分七厘デアリ、同八年ニハ三割二分七厘、同九年ニハ三割三分七厘ト云フヤウニ、毎年一分ヅツ増加シテ居ルヤウナ狀態デアリマス、斯ル現狀ニ鑑ミテ、政府ハ本法案ヲ制定シ、優秀且ツ健全ナル素質ヲ有スル人口ノ増加ヲ圖リマスト共ニ、劣惡ナル素質ヲ有スル人口ノ増加ヲ防遏シ、民族素質ノ向上ヲ圖リ、民族將來ノ發展ヲ期シヨウト企圖セラレマシタコトニ付テハ、大イニ賛意ヲ表スル者デアリマス、併シ本法案ニ對シマシテ、二三關聯致シタ質問ヲ致シテ見タイト存ズルノデアリマス

今村松君モ御話ニナリマシタヤウニ、吾々ハ一方消極的ナ本法案ヲ出シマスルト共ニ、積極的ニ人口増加ノ途ヲ執ラナケレバナラナイト考ヘテ居ルノデアリマス、本法案ノ對象ニナツテ居リマス精神病患者ノ如キハ、前述ノヤウニ昭和十二年度ニ於テ、其ノ總數ガ九万九千九百九十五人ト云フヤウナ譯デ、之ニ白痴、低能者ヲ加ヘマシテモ、恐ラク二十五万人内外ニ過ギナイガラウト思フノデアリマシテ、日本ノ總人口ノ上カラ申シマスナラバ、大シタ數デハナイノデアリマス、又本法案ニ反對致シマスル所ノ學者ハ、此ノ法律ニ掲ゲテ居リマス所ノ對象疾患ト云フモノハ主ニ、劣性因子ヲ持ツテ

居ル、若シ其ノ低能者ヲ精神病者ヲ一人殘ラズ斷種シテモ、十四代デ半數ニ減ルダケデアル、三十代デ四分ノ一ニナルヤウナ譯デ、其ノ效果ハ甚ダ遅タタルモノデアル、一方サウシテ精神病者ハ、減ジテモ、恐ラク二十代、三十代經ツテ居ル間ニハ、丁度ソレト同等ノ數ノ低能者ヲ精神病者ハ殘ルノデナイカ、斯ウ云フ效力ノ薄イ方法ヲ執ルコトハドウカ、斯ウ云フヤウニ反對シテ居ルノデアリマスガ、私ハ消極的方法トシテ之ヲ執ルコトモ宜イガ、先程村松君ノ御話ノヤウニ、此ノ法案ト共ニ並行シテ、モツト積極的ニ人口増加ニ對スル方策ヲ講ジナケレバナライト思フノデアリマス

其ノ一ツトシテ、私共ハ結核病ヲ考ヘナケレバナラスト思ヒマス、昭和九年ノ調査ニ於テモ、既ニ結核ノ死亡者ハ十三萬一千五百二十五人ノ多數ガゴザイマシテ、今日デハ恐ラク十四萬人以上ニナツテ居ルデアラウト考ヘルノデアリマス、罹病者ハ其ノ十倍ト見マシテ、百四五十萬人ヲ超エテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ此ノ方面ニモウ少シ力ヲ入レナケレバ、眞ニ國民ノ優生ヲ圖ルコトハ出來ナイノデナイカ、斯ク申シマスナラバ、政府ハ申スデアリマセウ、既ニ結核豫防法ヲ改正シテ居ル、豫算モ相當ニ増加致シテ居ル、新シクハ體力國家管理法ヲ制定セントシテ居ル、併シ如何ニ國家デ體力ヲ檢査シ、病氣ヲ見付ケタト致シマシテモ、治療ノ出來ルヤウナ施設、又誰ニデモ其ノ施設ガ利用ノ出來ルヤウナ制度ガ出來ナケレバ駄目デアリマス、昨年四月畏クモ皇后陛下ノ御内帑金ヲ賜ハリ、結核對策ハ、村松君ノ御話ノヤウニ、大體軌道ニ乗ツテ參ツタト思フノデアリマスガ、マダ國民運動ニマデハ展開シテ居ラナイト思フノデアリマス、私ハ此ノ際ニ、結核撲滅運動ヲモウ一段進メテ、國民運動ニマデ進展セシメ

ナケレバナライト思ウテ居ルガ、政府ハ此ノ點ニ對シテ如何ナル所見ヲ持ツテ居ラレカ、御伺致シタイノデアリマス、是ト共ニ、軌道ニハ乗ツタガ、尙ホ此ノ運動ヲ進メテ參リマスル間ニ於キマシテ、マダ色ノ缺點ガゴザイマスガ故ニ、私ハ結核對策ニ付テ數點御伺シテ見タイト思フノデアリマス、其ノ一ハ、公立療養所ハ重症者ヲ入院セシメル爲ニ、其ノ死亡率ハ非常ニ高ク、恰モ患者ニ最後ノ場所ヲ與ヘテ居ルヤウナ感じガ致シマス、寧ろ初期ノ者ヲ收容シテ回復セシムル方ガ、賢明ノ策デナイカト思ツテ居リマス、ソレガ爲ニ「サナトリウム」的施設ノ増加ヲ必要ト考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付テ政府ハドウ御考ニナツテ居ルカ、其ノ二ハ、所謂「カド」階級ノ人ハ、無料デ公立療養所ニ收容セラレルコトガ出來マスガ、ソレ以外ノ中小商工業者「サナトリウム」、農民及ビ勞働者ハ、之ニ均霑スルコトハ出來マセズ、是等ノ人々ニ對シ、僅カノ費用デ治療又ハ入院ノ出來ル療養所、又ハ「サナトリウム」ノ増設ヲ必要トスル考ハナイカ、アレバ年々ドウ云フヤウニ増設スルカト云フ點デアリマス、其ノ三ハ、右ノヤウナ輕費療養所ヲ私設社會事業團體ニ於テ經營セシムルコトヲ獎勵シ、是ガ新設又ハ擴張ニ當ツテ、國庫ヨリ補助金ヲ交付スル考ハナイカ、其ノ四ハ、近來私設團體ニシテ療養所ヲ新設シ、又ハ新設セント致シマスル時ニ、地元民ノ反對ノ爲ニ中止ノ已ムナキニ至ツテ居ルモノガ多クゴザイマス、是ハ國策ト矛盾スルコトデアルト思フノデアリマシテ、斯ウ云フヤウナコトヲ、政府ハ其ノ儘ニ看過シニシテ置ケバ、折角ノ結核撲滅運動ト云フモノモ、所謂支障ヲ來スノデアリマスルカラ、之ニ對シテ政府ハ如何ナル處置ヲ執ラレルカ、其ノ五ハ、右ノヤウナ障礙ヲ除キマスル爲ニ、政府ハ進ンデ公有地ヲ民間團體ニ拂下ゲテ、

療養所ノ敷地ニ充テルヤウナコトヲスル考ハナイカ、其ノ六ハ、結核義務保險制度ノ確立ノ問題デアリマス、伊太利デハ最近十箇年間ニ結核ハ半減シタ、是ハ結核義務保險ノ結果デアルト聞イテ居リマスルガ、日本ニ於キマシテモ、年額十五億圓内外ノ資ヲ投ジマスルナラバ、十年間ニ半減、二十年間ニ三分ノ一ニ減ジ得ルト專門家ハ論ジテ居リマス、併シ現下ノ國家財政カラ致シマシテ、或ハソレハ困難デアルカモ知レマセズ、ソコデ國民自體モ其ノ負擔ヲ負フ所ノ、伊太利ノヤウナ結核義務保險制度ト云フヤウナモノヲ、政府ハ實行スル所ノ意思ハナイカドウカ、斯ウ云フ諸點ヲ結核對策ニ付テ御伺致シタイノデアリマス

大キキ第二ノ點ハ、ヤハリ人口増加ノ積極的方策ヲ致シマシテ、結核ニ付キマシデハ、先程申上ゲタヤウニ大體軌道ニ乘リマシタガ、結核以外デ死亡率ノ非常ニ大キナモノハ、御承知ノヤウニ下痢及ビ腸炎、肺炎デゴザイマスルガ、之ニ對シマスル所ノ對策ハ、殆ドナイノデナイカト思フノデアリマス、下痢及ビ腸炎ニ因ル此ノ一年ノ死亡者ハ、十二萬七千二百三十九人デ、人口千人ニ對シテ十八・六人デアリマス、肺炎ニ因ル死亡者ハ、十二萬四千四百七十七人デ、人口千人ニ對シテ十八・二人ノ多數デアリマス、而モ此ノ病氣ハ、都市ニ於キマシテハ其ノ死亡率ハ低ク、地方ニ於テ高イ事實ヲ見マスル時ニ、今日ノ醫療機關ガ都市ニ偏重シテ居ツテ、農村ニ缺ケテ居ルト云フコトヲ、如實ニ示シテ居ルモノデアルト考ヘマスルノデ、私ハ、今日ノ醫療制度ト云フモノヲ根本的ニ改革ヲシテ、無醫村ノヤウナモノノ絶無ヲ圖リマスルト同時ニ、社會保險制度ノ確立ヲ期サナケレバナライト考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル政府ノ御所見ヲ御伺シタイト思フノデアリマス

第三ノ點ハ 本法案第三條「左ノ各號ノ一ニ該當スル疾患ニ罹レル者」トシテ、優生手術ヲ行フ疾患トシテ、五ツ擧ゲラレテ居リマス、私ハ此ノ五ツノ外ニ、強度ノ「アルコール」中毒、花柳病、特ニ微毒ヲ何故ニ除イタノデアアルカト云フ點ヲ、御伺致シタイノデアリマス、強度ノ「アルコール」中毒患者ハ、前述ノ第三號強度且惡質ナル遺傳性病的性格ト云フ項目ノ中ニ含マレテ居ルノカドウカ、先ヅ第一ニ此ノ點ヲ御伺シテ置キマス、ヨク日本人々ガ眞似ヲ致シタガリマス所ノ、「ナチス」獨逸ノ千九百三十三年七月十四日發布ノ遺傳病豫防法ノ中ニ、明瞭ニ一項ヲ掲ゲテ「強度ノ「アルコール」中毒患者モ優生手術ヲ行フコトヲ得」ト書イテ居ルノデアリマス、又北米合衆國ノ各州デ行ハレテ居リマス所ノ結婚禁止法中ニモ、常習大酒家ヲ其ノ對象トシテ居ルノデアリマス、何モ歐米ノ後塵ヲ嘗メル必要モゴザイマセズガ、醫學ノ進歩致シテ居リマス獨逸ニ於テ之ヲ決定致シマシタコトハ、相當ノ根據ガアルカラデハナカラウカト存ズルノデアリマス、否、ソレバカリデハアリマセズ、厚生省ハ嘗テ週報第五百十一號「民族優生方策ニ就テ」ト書イタ文章ノ中デ、民族毒豫防ノ項ニ於キマシテ、次ノヤウナコトヲ述ベテ居ルノデアリマス、

「民族ノ素質ヲ低下セシムル要因ハ、前述ノ如ク優秀、健全素質者ノ出生減少ト、劣惡素質者ノ繁殖デアアルガ、更ニ之ヲ促進セシムルモノトシテ、酒精、微毒、麻藥等ノ所謂民族毒ガアル、別ケテモ酒精ト微毒ハ最も普遍的デアツテ、之ニ依ル損害ハ實ニ恐ルベキモノガアリ、人類ノ二大強敵デアルト言ハネバナライナ、此ノヤウニ民族毒トシテ明白タデアリ、遺傳モ顯著ナモノガアリマス、有名ナ不良遺傳ノ研究家デアリマス「ゴッダー」ノ千九百十四年ノ調査ニ依リマス、酒精中毒者デアアル男ト正常デアアル女子トガ結婚ヲシタ時ニ、八人ノ子供

ガ生レ、四人ガ正常デ、一人ガ七歳デ死亡シ、一人ハ酒精中毒患者、二人ハ低能トナツテ居リマス、其ノ正常ナ女子ガ他ノ正常ナ人ト結婚致シマシタ時ニ、變微ハ現ハレテ居リマセスガ、其ノ低能者ノ子ト他ノ低能者ト結婚致シマシタモノニハ、五人中二人ハ早死、三人ハ皆低能者トナツテ居リマス、私共ノ住ンデ居リマス所ノ、大阪府立中宮病院ノ院長デアリマス所ノ小關博士ノ研究ヲ見マシテモ、略、同一ノ事實ガ現ハレテ居リマス、父方ノ祖父モ母方ノ祖父モ大酒家デアリ、而シテ母ガ「ヒステリー」、父ハ大酒家、此ノ間ニ出來マシタ子供ハ二人アルガ、二人ハ變質者デアリ、今一人ハ癲癇性精神病者デアリマス、小關博士ノ色々ノ研究ニナツタモノヲ讀ミマス時ニ、斯ウシタ多數ノ實例ヲ見ルノデアリマス、私ハ時間ガ澤山ゴザイマセヌカラ多ク之ヲ述ベマセヌガ、斯ウシタ事實ヲ見ルノデアリマス、ソレ故ニ此ノ際ニ民族毒ヲ除去致シマスル爲ニ、酒害豫防ニモウ少シ積極的ニ政府ハ乗出スベキデハナイカ、酒害豫防ニ對シマシテ、禁酒反對ノ方々モ、教育ニ依ツテ之ヲ爲スコトガ宜イト言ハレテ居リマスガ、文部省ガ此ノ酒害豫防ト云フ問題ニ對シテ、一體如何ナル教育的施設ヲ執ラレタカ、此ノ際ニ伺フコトガ出來ルナラバ、大變幸ダト思フノデアリマス

次ハ花柳病、殊ニ梅毒ニ關シテデゴザイマスルガ、先程申述ベマシタヤウニ、北米合衆國ノ禁煙法ニハ、殆ド梅毒及ビ淋病ガ禁止事項ニ入ツテ居ルノデアリマス、性病ニ關シマスル我國ノ狀況ヲ見マスルノニ、梅毒ハ血清反應ニ依リマスルト、日本中ニ一〇%アル、遺傳梅毒ハ、乳幼児デハ二乃至四%、學齡期ノ子供デハ三%、小兒兒童ハ一〇%、感化院ノ子供ハ二〇%ト云フヤウニ、非常ニ普遍率ヲ持ツテ居ルコトハ、寒心スベキ狀態デゴザイマス、私ハ斯ウシ

タ花柳病ノ問題ニ付テ——先程村松君ニ對シテ御答モゴザイマシタガ——唯違ツテ居ルコトデ、茲ニ伺ツテ置キタイ一ツノ點ハ、第七十四議會ニ於キマシテ、花柳病豫防法ノ決定サレマスル時ニ、希望條項トシテ、政府ハ次ノ議會ニ根本的ナ花柳病豫防法ノ改正案ヲ提出スベシ、斯ウ云フ條項ガアツタノデアリマスルガ、政府ハ院議ヲ重シテ、之ヲ提出スル所ノ御意思ガアルカドウカ、或ハ今ノ議會ニ提案出來ナイト致シマスナラバ、來ルベキ議會ニソレヲ出ス御積リデアアルカドウカ

私ハ時間ヲ短縮致シマスル爲ニ、第四ノ癲癲策ニ對シテ唯要項ダケヲ申上ゲテ置イテ、政府ノ御答ヲ戴キタイと思フノデアリマスルガ、癲癲此ノ法案カラ離シマシテ、別ニ癲癲療法ノ改正ニ依ツテ、優生手術ヲ行ハントスルヤウデアリマスガ、何モサウ云フ優生手術ダケナラバ、此ノ法案ヲ適用シテ行ツテモ宜イノデハナイカ、或ハ遺傳病デアルト云フコトヲ恐レルト云フヤウハ、御心配モアルヤウデアリマスガ、モウ既に今日ニ於テハサウ云フ心配ハナイノデハナイカ、之ヲ特別ニ離シタ其ノ理由ヲ伺ヒタイト同時ニ、癲癲策ニ對シマシテ、私ハ五ツノ項目ダケヲ申上ゲテ置イテ、私ノ質問ヲ終リタイと思ヒマス、其ノ一ツハ、療養所ノ擴張計畫ガ、最近三井報恩會ナドノ援助ニ依ツテ、著々トシテ進ンデ居リマスルケレドモ、其ノ進捗狀態ハドウデアアルカ、尙ホ其ノ二ハ、段々擴張サレテ參リマシタケレドモ、マダ收容シ切レナイ所ノ患者ガ多數ニアル、例ヘバ沖繩、鹿児島等ダケデモ、二千八百人餘リノ收容出來ナイ患者ガゴザイマスルノデ、尙ホ一層進ンデ擴張スル所ノ意思ハナイカドウカ、ソレカラ公立療養所ヲ國立ニ移管スル考ハナイカ、第四ハ、患者ノ待遇改善ノ問題デアリマスガ、今療養所ニ居リマスル患者ハ、一日二十錢

ニ足ラナイ費用デ養ハレテ居リマスル、是ハズツト昔ノ非常ナ浮浪者扱ヒニシタ時代ノ待遇デアルト思ヒマスノデ、之ヲ今日モツト改善スル必要ガアルと思フガドウカ、其ノ五ハ、癲癲研究所ヲ設置シテハドウカ、詳細イコトニ付キマシテハ、委員會デ御伺スルコトニ致シマシテ、私ノ質問ハ是デ打切ルコトニ致シマス(拍手)

○國務大臣(吉田茂君) 杉山君ニ御答ヲ致シマス、全體ノ御質疑ノ根本ト致シマシテ、物モ大切デアアルガ、物ヨリ更ニ人ガ大切デアリ、隨テ此ノ人ノ問題ヲ解決スル爲ニハ、本法ノ施行ノミデナクシテ、併セテ積極的ナ人口對策、保健政策ト云フモノノ行ハレルコトガ必要デアルト云フ御考ニ對シマシテハ、先刻モ御答ヘ申上ゲマシタ通り、全然御同感デゴザイマス、ソレニ付キマシテ種々方策ヲ擧ゲテ是非ヲ御尋ニナツタノデゴザイマスガ、何レ詳細イコトハ他ノ機會ニ於テ御答ヲ致ス折ガアラウト思フノデアリマス、此處ニハ極メテ概略ノ考ヲ申上ゲマシテ、一應ノ御答ト致シテ置キタイと思フノデアリマス

其ノ第一ニ、積極的人口増加對策ノ中ノ最も重要ナモノトシテ、結婚對策ヲ御擧ゲニナリマシタ、私共モ洵ニ其ノ點杉山君ト感テ同ジクスルノデアリマシテ、結婚對策ヲ今日ノ儘ノ狀態ニ止メテ置カズシテ、之ヲ國民運動トシテ一段ト強化シ、發展セシムル必要ガアリハシナイカト云フコトニ付キマシテハ、全然御同感デゴザイマス、最近御承知ノ通りニ、結婚ニ對スル世間ノ關心ガ大分深マツテ參リマシタコトハ、稍、意ヲ強ウスルノデアリマス、此ノ程度ニ止メズシテ、更ニ此ノ亡國のナ恐ルベキ疾患ヲ、國內カラ驅逐シテシマフコトガ、銘々ノ國民ノ務メダト云フ自覺ヲ得マスルマデニ、進展セシメルコトガ必要デアルト考ヘテ居

リマス、其ノ方策等ニ付テハ、又他ノ機會ニ於テ御教ヘヲ受ケタイと思フノデアリマス

尙ホ國立ノ療養所ニ於テハ、重症患者ヲ主トスルガ故ニ、死亡率ガ非常ニ高イ、初期輕症ノ患者ヲ收容スベキ「サナトリウム」ト云フモノニ、モツト力ヲ入レナケレバ、ラスノデハナイカト云フコトデゴザイマス、國立療養所ト雖モ、必ズシモ重症患者ノミヲ收容スルト決メテ居ルノデハナイノデアリマスケレドモ、事實設備ハ足ラズ、「ベッ」ノ不足致シテ居リマスル爲ニ、結果トシテ左様ナコトニナツテ居ルコトハ洵ニ遺憾デゴザイマス、結婚ニ付テ早期ノ發見ニ努メ、初期ノ患者ヲ收容スル有效ナ療養所ノ普及ニ、モツト力ヲ注ガナケレバナラナイト考ヘルノデアリマス、最近ソレ等ノ施設ニ付キマシテハ、以前ニ比ベバ大分普及ヲシテ參ツタノデアリマスルガ、未ダ到底ニ至リタイト云フ所ニ至リマスルマデニハ、前途遠達デアリマス、速ニ是等ニ付キマシテハ、出來ル限リノ力ヲ注イデ、整備ニ努メタイと思フノデアリマス、療養所ノ設置ニ付テノ地元ノ反對等ニ付キマシテハ、年來ハハ難儀ヲシテ居ル所デアリマシテ、是等ニ付キマシテモ、實地ニ就テソレ等ノ困難ヲ解決スル途ガ、種々工夫セラレルト思フノデアリマス、詳細イコトハ他ノ機會ニ申上ゲテ見タイト存ジマス

ソレカラ下痢、腸炎、肺炎等ノ、乳幼児ノ尊イ生命ヲ奪ヒマスル疾患ニ付テノ御話ガゴザイマシテ、私共モ洵ニ感テ同ジウシテ居ルノデアリマス、御質問中ニモ御指摘ニナリマシタ如ク、此ノ頃ハ出生率ガ低下ヲシテ居ル、隨テ人口ノ自然増加ノ率ガ低下ヲシタ、ト同時ニ、喜ビニ堪ヘマセヌコトハ、死亡率ノ低下ト云フコトヲ見ツアルコトデゴザイマス、死亡率ガ低下ヲシ、出生率ガ増加スルコトガ、最も望マシイ狀

態アリマスガ、此ノ死亡率ノ低下致シマシタコトハ、是ハ色々ノ原因ガゴザイマセウガ、御指摘ニナリマシタ下痢、腸炎、肺炎等ノ、ソレモ御説ニアリマスルヤウニ、都市方面ニ於ケル小兒ノ死亡率ト云フモノガ低下シタコトガ、大キナ原因ニナツテ居ルと思フノデアリマス、農村方面ニ於キマシテハ、其ノ事ノ十分デナイコト、是亦御指摘ノ通りデゴザイマス、十分ナ力ヲ今後其ノ方面ニ特ニ盡シテ參ラネバナラヌト思フノデアリマス

次ニ酒精中毒、花柳病患者等ヲ、此ノ法案ノ對象カラ除イテアルノハ、ドウ云フ譯カト云フ御尋デゴザイマス、ソレ等ハ直接ニ遺傳性疾患デゴザイマセス爲ニ、一應除イテアルノデアリマス、酒精中毒ニ陥リ易イ體質ノ人々ニ付キマシテハ、今後ノ問題トシテ、十分研究ヲ致シテ見タイト思フノデアリマス、尙ホ花柳病豫防法改正ノ準備ガアルカト云フ御尋デゴザイマス、是ハ是非今日ノ花柳病豫防法ハ改正ヲセネバナラヌト云フ考ノ下ニ、其ノ準備ヲ目下進メテ居ル次第デゴザイマス

癩ニ關スル各項目ヲ舉ゲテノ御尋ニ付キマシテハ、是ハ別ノ機會ニ於キマシテ、詳細御答ヲ致スコトニ致シタイト思ヒマス(拍手)

〔政府委員子爵舟橋清賢君登壇〕

○政府委員(子爵舟橋清賢君) 大臣ガ差支ガゴザイマスノデ、私カラ御答辯ヲ申上ゲルコトヲ御許ヲ願ヒマス、杉山君ノ御質疑中、文部當局ニ關スルモノハ、飲酒ノ害ノ豫防對策ニ付テ、當局ハドウ云フ方策ヲ執ツテ居ルカト云フ御質問デアツタヤウニ拜承致シマス、飲酒ガ若イ學生生徒等ニ取リマシテハ、保健上モ亦風教上モ、極メテ好マシクナイコトハ申スマデモナイコトデアリマス、文部省ト致シマシテハ、學校ノ教授ノ上ニ於キマシテ、教材ノ取扱ニ當リマ

シテモ注意ヲ喚起スル外、社會教育方面ニ於キマシテモ、其ノ害ヲ被ルコトナキヤウ、指導ニ努力ヲ拂ツテ居ル譯デアリマスルガ、飲酒ノ害ト云フコトハ、是ハ幼少ノ時ヨリ十分ニ頭ニ入レテ置クコトガ必要デアリマスルノデ、例ヘバ小學校ノ修身ノ教科書等ニ於キマシテモ、酒ノ害ニ關スル話ヲ掲載致サシメ、教授ニ當リマシテ、十分將來飲酒ノ弊ニ陥ルコトノナイヤウニ、注意致シテ居ル譯デアリマス、更ニ中等學校トカ、實業學校トカ、サウ云フ方面ニ於キマシテ、未青年ノ學生ニ禁酒ヲ致サシメテ居ルコトハ申スマデモナイコトデアリマスルガ、丁年ニ達シマシタ學生ニ對シマシテハ、是ハ徒ニ強制彈壓スルコト云フコトハ、却テ實際ノ禁酒ノ目的達成ノ上ニ考慮ノ餘地ガゴザイマスルノデ、學校當局者ト學生トガ十分ニ協力致シマシテ、自發的ニ禁酒ヲスルト云フコトノ方ガ、實際ノ效力ガアルト考ヘテ居リマス、其ノ方針ノ下ニ過去ニ於キマシテモ、亦將來ニ於キマシテモ、具體的ナ方策ヲ執ツテ、將來ニ於キマシテ出來ルダケ御希望ニ副フヤウニ努力致ス積リデ居リマス

○議長(小山松壽君) 田中養達君

(田中養達君登壇)

○田中養達君 今上程サレマシタ國民優生法案、是ハ實際ノ取扱ノ上カラ此ノ法案ガアリマスルト、非常ナ便利ナ場合モアリ、又必要モアルノデアリマス、殊ニ今説明サレマシタヤウニ、色々ナ是等ノ不幸ナ病氣ヲ世ノ中カラ無クシヨウト云フ、此ノ事ニ反對ノ者ハ一人モナイ、隨テ私モ此ノ趣旨ハ無論賛成デスケレドモ、此ノ取扱ヲ誤リマスルト、先程會和君ノ申サレマシタヤウニ、日本獨特ノ家族主義ニ色々ナ悲喜劇ガ生ズルコトト信ジマス、今一ツハ是ハ醫學ノ權威ノ上カラ見マシテモ、身體ノ一部分ヲ傷ツケテ生殖機能ヲ停止スル、其ノコ

トハ或ル意味ニ於ケル殺人的ノ行爲デアリマス、隨テ醫學ハ人類ノ生命ヲ肯定シテ、ソコカラ始マツテ居ルノデアリマスカラ、嚴肅ナル意味デ行キマス、是ハ醫學ノ否定ニナリマス、併シナガラ私ハサウ云フ意味合デナシニ、常識デコノ不幸ナル患者ヲ少シデモ無クシヨウト云フ、此ノ建前デ贊成スル氣持デ御尋スルノデアリマスカラ、ドウゾ其ノ御積リデ御聽取ガ願ヒタイ

質問ノ第一ハ全體日本ニハマダ精神病ノ遺傳關係ニ付テノ調査ハ出來テ居ラス答デアリマス、隨テ何ヲ根據ニ此ノ案ヲ御出シニナツタノカ、若シ日本ニ其ノ調査ガアルナラ御示ガ願ヒタイ、是ハナイ答デアリマス、殊ニ醫學ノ一ツノ分科デアル精神科ハマダ未開ノ地ガ非常ニ多イノデアリマス、醫學ハ非常ニ進歩シマシタガ、精神科ニハマダ分ラヌ點ガ非常ニ澤山アル、隨テ此ノ遺傳ノ法則等ニ付キマシテハ、專門ノ學者ノ中ニ非常ニ區々トシテ一致シテ居リマセス、ヒヨツトスルト政府ハ獨逸ナドノ統計ヲ基礎ニシテ御出シニナツテ居ルノデナイカト私ハ斯ウ心配シマス、遺傳ノ法則ハ決ツテ居ルカモ知レマセスガ、疾病ノ遺傳ハ民族ニ依ツテ各、違フ、殊ニ精神病モ同ジヤウニ遺傳シテ居リマセス、隨テ是ハ單ニ外國ガ斯ウダカラ、統計ガ斯ウダカラト云フコトガ根據デアリマス、非常ナ間違ガ起リハセスカト私ハ心配シマス、其ノ根據、調査資料等ガアルナラバ、ドウゾ御示ヲ願ツテ置キタイ

第二ニハ政府ハ今度思切ツテ此ノ案ヲ御出シニナツタノデアリマス、此ノ斷種ニ依ツテ此ノ不幸ナ病氣ヲ少クシヨウト思切ツテヤルダケノ信念ヲ御持チニナツテ居ルカドウカ、先程杉山君カラノ御尋デアツタト、昭和十年度ニ慥カ八萬餘リノ精神病者ガ日本ニアツタト書イテアル、是ハ八萬デ

ナシニ、實際數ハ二十五萬ト言ハレタガ、確ニ其位ハアルト私ハ思ヒマス、假ニ此ノ二十五萬ノ精神病者ヲ、其ノ一割ノ二萬五千ニマデ減ラス、二十五萬人ヲ一時ニ斷種シテシマフ、ソレカラ次々ト代々何ワデモ之ヲ斷種シテ行ツテ、二千年掛ラヌト一割ニナリマセヌ、二十五萬人ノ精神病患者ヲ二萬五千ノ一割ニスルノニ二千年掛ルノデス、而モ二十五萬人ヲ全部斷種シテ二千年掛ル、隨テ此ノ法案ハ前ニ申ス如ク常識カラ考ヘテ結構デアリマスガ、此ノ建前デアリマス、ソコデ今一ツ、然ラバドウスルノデヤト云フト、言葉ハ惡イカ知レマセスガ、豫防デ行クカ、斷種デ行クカ、政府ハドウチラニ重點ヲ置カルノカ、之ヲ一ツ御尋シテ置キタイ、所デ言葉ハ惡イカ知レマセスガ、豫防スルトスレバ、早期診斷ヲヤラナケレバナラス、監禁センケレバナラス、隔離センケレバナラス、治療ヲヤラナケレバナラス、是ハ理想ニハ非常ニ結構デアリマス、ケレドモ大變ナ金ガ掛ル、是モ中々私ハ言フベクシテ望マレヌコトト斯ウ考ヘマス、シテ見マスト假令斷種一本デ行カウ、思切ツテ積極的ニ是デ行カウトヤツテモ二千年掛ル、思切ツテ隔離、治療、監禁ソレ等ニ依ツテ之ヲ治サウ、サウナレバ國家ハ是ハ大變ナ金ガ要ルノデス、是ハ私ハ折角デスガ、何レニシテモ其ノ效果ガ舉ガラナイト斯ウ思ヒマス、併シナガラデス、一人デモ宜イ、此ノ病人ヲ減サウ、一人デモ此ノ不幸ナル者ヲ無ウシヨウト云フ、此ノ建前ニハ贊成ナノダカラ、其ノ御積リデ御聽ヲ願ヒタイ

ソコデ私ハ御尋シタイコトハ、今杉山君ガ申サレマシタヤウニ、ナゼ此ノ中ヘ惡性ノ「アルコール」中毒患者ノ斷種ヲ御入レニナランダカト云フ點デス、全體精神病ノ遺傳關係、是ハマダ學者ノ説ガ決ツテ居ラ

ス、其ノ決ツテ居ラス説デサハ思切ツテ此ノコトヲナサル、此ノ勇氣ニハ私ハ敬服シマス、所デ精神病ノ直接ノ原因ニナル「精神病ガ環境ニ依ツテ起ル」ト云フ此ノ事實カラ考ヘテ、精神病ノ「一番ノ原因ハ何處ニアルカ」ト云ヘバ酒デス、其ノ「アルコール」中毒患者ガ此ノ中ニ入ツテ居ラス、折角此ノ案ヲ御作りニナツテモ、此ノ中ニ若シ「アルコール」中毒患者ト云フ一項ガナイ以上、佛作ツテ魂ヲ入レストチツトモ變テス、是ハチツトモ金ハ要リマセズ、少シノ經費モ掛ラス、而シテ此ノ病氣自體ハ確ニ私ハ防ギ得ラレトスウ考ヘル、精神病ノ如キハ、精神病患者ノ家ニ精神病ノ子ガ出來タカラ、是ハ遺傳ダ、コンナ輕卒ナ考ヘ方デハイカス、精神病患者ノ家庭ノ其ノ子供等ハ、親ノ精神病、或ハ近親ノ人ノ精神病ト云フ、其ノ憂鬱ナル家庭ニ育ツタコトガ、偶、精神病ノ素因ノアルノト相合致シテ、是ガ發病スルノデアリマス、ソレト同意味デ、此ノ「アルコール」中毒患者、斯ウ云フ環境ガツマリ精神病ヲ拵ヘルノデアリマス、大體精神病ノ間接又ハ直接ノ其ノ原因ハ何處ニアルカト云ヘバ、微毒ト酒デス、微毒ト酒ノコトニ付テハ前者モ言ハレタヤウニ、是位恐ルベキ民族毒ハナイ、若シ社會ノ中カラ酒ト微毒ガナカツタラ、精神病ハウント減リマス、是ハモウ日本ノ統計ニ明ニ示サレテ居リマスカラ、是ダケハ間違ヒナイト私ハ信ジテ居リマス、而モ此ノ微毒ニ罹ル一番危險性ノ多イノハ何カト云ヘバ、一杯飲ンダ時デス、酒ガ必ズ何時デモ微毒患者ノ後ニアル、是ハ間違ヒナイ事實デス、シテ見マス、精神病ノ原因ガ酒ト微毒ト云フ恐ルベキ民族毒ダ、其ノ微毒ニ罹ル一番危險率ノ多イノガ酒ト云フコトニナルト、酒ガ一番ノ原因ニナルト云ツテモ、差支ナイヤウナコトニナツデ參ルノデアリマス、此ノ肝腎ノ「アルコール」中毒患者ヲ除カレ

タコトヲ、私ハ非常ニ遺憾ニ感ジマス、ドナタカモ申サレマシタヤウニ、私モ此ノ案ヲ見テ直グ頭ニビント來ルノハ、斷種ト云フ消極的ナコトヲヤラレルガ、積極的ナル案ハ何モナイ、ソコデ私ハ積極ト云ヘバ語弊ガアルカモ知レマセズガ、ナゼ進ンデ此ノ原因ヲ深く掘下ゲテ、之ヲ斷タレヌノデアリマス、ソコニ私ハ國民素質ノ向上ト云フ積極的ノモノガ含マレテ居ルト思フノハ、今申上ゲタヤウニ、環境ニ依ツテ此ノ病氣ガ起ル、ドウデス諸君、親爺ガ一杯飲ンデ妻君ニ管ヲ卷イテ居ル、サウシテ妻君ガ惱マサレテ居ル、其ノ家庭、其ノ陰鬱ナル家庭ニ育ツタ子供ト、親爺サンガ御馳走デモ買ツテ來テ、家族ガ机ヲ圍ンデ愉快ニ晚餐ヲヤツテ居ル、其ノ朗ラカナ家庭ニ育ツテ居ル子供ト比ベタラ、ドンナ氣ガシマス、ス、斯様ナ家庭ニ育ツタ人コソ、初メテ身心トモ健全ナモノデアル、今國家ガ一番要求シテ居ル人間ハ是ナノデス（拍手）ソレコソ一錢ノ金モ使ハズシテ國民素質ノ向上ヲ圖リ得ラレト、私ハ斯ウ深ク信ジテ居リマスガ、ナゼ之ヲナサラスノデスカ、私ハ此ノ點ハアナダニ理窟ヲ申スノデモ何デモナイガ、眞劍ニ國家ノ爲ニ考ヘテ下サイ

ハ、モウ都合ニ依ツタラハハ生活ノ必需品ダカラ、來年度アタリハ増石セシケレバナラヌト云フ、フザケ切ツタコトヲ喋ツテ居ル、是ハ民族毒デヤトハツキリ決ツテ居リマス、私ハ今「アルコール」中毒ニ罹ツテ酒ヲ飲ミタイ人、現在習慣付ケラレテ居ル呑ダクレノ手カラ、酒ヲ取ラウト言フノデハアリマセズ、併シ少クトモ酒ハ生活必需品デハナイ、「アルコール」中毒ニ罹ツテ居ルカラ、仕様ガナイノデヤルノダ、ダカラ或ル意味ニ於ケル藥物トシテ、此ノ「アルコール」ヲ使ツテ居ルノダト云フ建前ニナツテ戴キタイ、現在阿片ハ禁ジテ居リマスケレドモ、阿片中毒者ハ恰度酒ノ中毒者患者トチツトモ變テスデ、喫マズニハ居レナイ、ソレダカラヤハリ害毒デハアルガ、患者ニハ國家ハ阿片ヲ與ヘテ居リマス、是ハ藥物トシテ與ヘテ居ル、私ハ酒モ是ハ民族毒デ良クナイモノダト思フ、併シモウ中毒ニ罹ツタ人カラ、ソレヲ直グ取上ゲテハ氣ノ毒ダカラ與ヘルノダ、此ノ建前ニナツテ戴キタイ、之ヲ政府ハドウ御考ニナリマス、折角厚生省ガ出來テモ、是程ハツキリシテ、恐ロシイ民族毒デアルト決ツタモノヲ、如何ニモ生活ノ必需品ダ、是ガ無クテハナラナイノダ、斯ウ云フヤウナ氣持デ居ラレト云フコトデアルナラバ、殊ニ本案ニ於テ態々「アルコール」中毒患者ヲ除イテアルコトカラ考ヘマス、政府ノ考ハドンナ考デアルカ、是ハ誤ツタル觀念デハナイカト云フコトヲ憂フルカラ、私ハ御申上ゲルノデアリマス

第二ニハ全體今日ノ酒ハドウナサル御積リデスカ、本年ハ造石ガ約半分、隨テ各所ニ色々ナ不正ナ事件ガ起ツテ居ルコトハ、モウ厚生省ノ御承知ノ通りデアリマス、隨テウント水ヲ混ゼル、ソレデ腐ツテハナラヌト云フノデ防腐劑ヲ入レルガ、其ノ防腐劑ガ人間ノ身體ニ惡イコトハ、モウ決り切ツタコトデス、ソレダケデナシニ、恐ロシイコトニハ「メチール・アルコール」ヲ入レタモノヲ飲ンデ居リマス、是ハモウ警察ニ舉ツタモノモアリマスカラ、アナタノ御手許ニハ其ノ報告ガ來テ居ル筈デアリマス、「メチール・アルコール」ノ恐ロシイコトハ今更説カナクデモ、是ハ直グ腦神經ヲ冒シマス、特ニ視神經ヲ冒シテ、此ノ酒ヲ飲ムト盲目ニナル、是程恐ロシイモノガ現在ノ市場デ賣ラシテ居リマス、少クトモ國民ノ健康ヲ御考ニナツテ居ル厚生省デアルナラバ、是等ニ付テドウ始末ナサル積リデアルカ、私ハ其ノ對策ヲ伺ツテ見タイ、成程政府ハ經濟警察ヲ動員シテ、片端カラ引張り上ゲレバ宜カラウト御考ニナツテ居ルカモ知レナイ、併シソノナコトデハ駄目デス、可哀サウニ「アルコール」ノ中毒患者ニナツタ人ハ、死ヌカ生キルカソナコトニハ構ツテハ居レヌ、兎ニ角飲マナケレバナラス、ナンボ警察ノ力デ之ヲ抑ヘヨウトシテモ、連モ抑ヘ切レルモノデハナイノデアリマス、是ハ非常ニ國民保健ノ上カラ言ツテ、實ニ恐ルベキコトデアリマス、ナンボ之ヲ今申上ゲルヤウニ抑ヘラレテモ、ソコニハ恐シイ闇取引ガ現在起ツテ居リマス、此ノ闇取引ハ獨リ酒ダケデハナイデセウ、今日日本ガ闇取引ヲビシヤツト止メルコト、何モ彼モ停止スル、モウ一切ノ經濟行動ハ停止シナケレバナラス、悉ク闇デス、是ハ獨リ酒ダケデハナイ、其ノ他ノ諸物價、殊ニ衛生材料、藥ノ如キハ悉ク闇デス、而モ今日ノ中小商工業者ノ闇ヲヤツテ居ル連中ハ、闇ヲヤツテ儲ケテ居ルノデハナイ、高クトモ仕様ガナイ、高イノヲ承知デ買ツテ來テ、之ヲ賣ラナケレバ食ヘヌカラヤツテ居ルノデ、決シテ彼等ハ闇ニ依ツテ儲ケテ居ルノデハナイ、其ノ證據ニハ、是等ノ小商人ハ此ノ闇ヲ止メテ貴ヒタイ、闇ナシノ商賣ガシタイト云ツテ居ル、高クモ買

ツテ來テ、ソレヲ賣ラナケレバ食ヘナイカラ買フノダト云フノガ、今日ノ實際ノ閣取引ノ狀態デアル、所デ此ノ閣ハモウ一ツ奧マデ行ツタラ、何處カニ大キナ奴ガ居ル、之ヲ押ヘナケレバナラス、今經濟警察、此ノ人手ノ足ラヌ時ニ大動員ヲヤツテ、サウシテ可哀相ニ、闇ハ困ル、正シキ商賣ヲシタイト云フ忠良ナル國民ヲ、片ツ端カラ豚箱ニ叩キ込ムト云フヤウナ、コンナ馬鹿々々シイコトガ世ノ中ニアリマスカ、此ノ問題ハアナタニ責任ノナイ問題デアルカラ、追究スルコトハ止メマスカ、酒モヤハリ同ジデス、酒ハ今年ハ半分デアル、隨テ廳テ高クナルダラウ、將來上ルデアラウト見込シテ居ル大閣ノ奴ガ、何處カニ居ルニ違ヒナイト私ハ思フ、之ヲ擧ゲタラ宜シイ、サウ云フ者ガアルカラ小賣ノ方ニ廻ツテ來ナイ、仕方ガナイカラ「メチール」アルコイル「デ補」ツ云フ結果ニナツテ居ルノデアリマスカ、サウシテ見マス、此ノ結果ハ外ノ代物ノヤウニ、此ノ「コップ」ガ五錢、七錢、十錢デ高カワツト云フコトデナシニ、直接健康ニ是程恐ロシイ影響ガアル酒デアリマスカ、私ハ此ノ點ハ、此ノ際コソ國民ニ徹底シタラドウカト思フ、酒ハ毒ダ、併シ飲シテ居ル者ハ已ムヲ得ナイ、斯ウ云フ思想ヲ此ノ機會ニ徹底シテ、一ツ國民ニ知ラシメル意味カラ行キマシテモ、本案ノ中ニ「アルコイル」中毒患者ヲ入レテ置クト云フコトハ、政策ノ上カラ考ヘテモ、私ハ非常ニ結構ナコトデハナイカト信ジテ居リマス

割カ知ラヌガ、現ニ消費サレテ居リマス、此ノ消費サレル酒ヲ、取敢ズ今ノ飲ミタイ人ノ所ニ持ツテ行クト云フコトデアレバ、二割カ三割カ其ノ數字ハハツキリ知リマセスガ、ソレダケ酒飢饉ガ緩和サレルノデアリマス、此ノ二十五歳ノ禁酒法案ノ必要、是ハ私ガ此處デ申上スデモ十二分ニ御存ジノコトデアリマス、然ルニ厚生省ガ新シク出來テ、本當ニ國民ノ醫事行政、健康ヲ憂ヘ、而モ前途アル青年學生ノ將來ヲ憂フルト云フ、此ノ御親切ノ親心ガアルナラバ、是非共此ノ際ニ二十五歳禁酒法案ヲヤツテ貰ヒタイ、私ハ重ネテ申シマスガ、二十五歳以上ノ家ヲ成シ、子女ノアル人ガ、一日ノ疲ヲ休メルノニ、晩酌ヲ一杯ヤラウト云フノマデ取ラウト云フ意味デハナイ、現在「アルコイル」中毒ニ罹ツテ居ル人ノ酒ヲ取ルト云フコトデハナイノデアリマス、酒ハ習慣痛デモノデハナイ、ドンナ人デモ酒ヲ初メカラ欲シクテ飲シテ居ル人ハ一人モ居ナイ、例ノ花柳病ニウツリニ行ク時ニ、一杯元氣デ行カナケレバ恰好ガ惡イカラ、一杯ヤツタノガ段々因ニナツタ、是ハ苦痛デハナイ、私ハ二十五歳禁酒法案ガ、若シ本人等ニ苦痛デアルト云フコトナラバ、強ヒョウトハ思ヒマセスガ、斷ジテ苦痛デナイ、アノ前途アル青年學生ガ「バー」一杯飲ミ、其ノ健康ダケデナク、其ノ前途マデ誤ル、其ノ多クハ何カト云ヘバ酒デアル、全體二十五歳禁酒法ヲ今假ニ布イタト假定シテ、日本中誰ガ反對シマスカ、私ハ少クトモ二十五歳以内ノ青年ヲ持ツテ居ル父兄ハ、悉ク雙手ヲ舉ゲテ贊成サレルコトト思フ（拍手）是ハ今日マデ偶、反對ガアツタ、ソレハ酒屋ガ反對デアツタ、是ハ無理ハナイ、職業意識カラ之ニ反對サレルノハ御察シシマスガ、今日コソ酒ガナイノデ困ツテ居ル、今日ハ酒ヲ一升買ヒニ行ツテモ五合シカ賣ラナイ、酒ガ

ナクテ困ツテ居ルノダカラ、モウ酒屋ノ反對ハスツカリ無クナツタ、全體コンナ好イ時機ガアト先ニアリマスカ、私ハ此ノ際斯ウ云フ重要ノ案ヲ議員提出法ニシテ置クト云フヤウナ不眞面目ナコトデナシニ、政府自ラ案ヲ具シテ議會ニ諮フガ宜イト思フ（拍手）私ハ是等青少年ニ對シテ、此ノ眞劍ト熱心ト親切ガアツテ貰ヒタイト思フノデアリマス、斯ウシテ堂々百ノ聲明ヲ御出シナリ、總理大臣ガ此處デ百遍斷乎ト言ハレロヨリ、一ツデ宜イカラ實行ニ移シテ貰ヒタイ、是非ヤツテ下サイ、然ルニ先程大藏大臣ハ、都合ニ依ツタラ増石スルト言ハレマデモナク有史以來ノ非常時局ニ直面シ、此ノ大事業ヲ今將ニ爲サントシテ居ル、而モ汪政權ガ出來テモ、今直ガ戰ヲ止メルノデアリマス、是ハ屢、政府ガ聲明サレル通りデアリマス、サウスルト此ノ時局ハ是カラマダ「續ク、而モ本年ハ肥料ノ減産、配給ノ不足、是ハ食糧問題トハ非常ニ關係ガアリマシテ、皆憂ヘテ居リマス、而モ此ノ米ハ世界性ノナイ、至ツテ窮屈ナ日本ノ主要食物デアリマス、是ノ確保コソ今日最モ大切デアリ、必要ナ時ニ、大藏大臣ハ増石スルト言ハレ、第一歐羅巴戰争ノ時ニハ、英米ハ悉ク禁酒シテ居リマス、米國ノ如キハ憲法ヲ改正シテ禁酒シテ居ル、露西亞モヤツテ居ル、獨逸、伊太利、英吉利、佛蘭西、皆各、其ノ國情ニ即シテ禁酒ヲヤツテ居リマス、今度モ亦佛蘭西ハ現在禁酒シテ居リマス、ソレダコソ日本ガ此ノ非常時局ヲ啞ヘ楊子デ一杯機嫌デ乗切レルト云フヤウナ考ダツタラ、私ハ洵ニ認識不足モ甚シイト思フ（拍手）國民精神總動員デ幾ラ太鼓ヲ叩イデモ、ソナコトデハ國民ハ踊ラヌ、私ハドウゾ斯ウ云フ機會ニ、唯單ニ酒ト云フ問題ダケデナク、眞ニ國民精神ヲ緊張シ、此ノ非常時局ノ認識ヲサス、斯ウ云

フ建前カラ行キマシテモ、今ガ一番好イ時デハナイカト思フノデアリマス、今カラデモ遅クハナイ、私ハドウカ政府ガ案ヲ具シテ、一ツ此ノ問題ヲ親切ニ採上ゲテヤツテ貰ヒタイト思フ、總テハ世界ニ例ノナイヤウナ體力管理法案モ御出シニナルヤウデアリマスガ、百ノ法律ヲ御出シニナツテモ何モナラス、如何ニ體力ノ増進向上ノ法律ヲ何万御出シニナツテモ、國民體力ノ低下スル源ヲ防ガナクテハ何ニモナラス（拍手）私ハコンナ學說ノ決マラスモノハナクテモ宜イト思フ、取敢ズ源カラヤツタラドウカ、ドウカ斯ウ云フ建前デ行ツテ貰ヒタイ、特ニ此ノ問題ニ付テ、此處デ直出スカラト云フ御答ハシニクカラウト存ジマスガ、ドウカ青少年及ビ國家ノ爲ニ、特ニ國民體力増進ノ爲ニ考慮シテ戴キタイト思ヒマシテ、切ニ御願申上ゲルノデアリマス、何レ又詳シイコトハ委員會デ御尋シタイト存ジマスカラ、簡單ニ御尋シテ置キマス（拍手）

○國務大臣（吉田茂君登壇） 御致シマス、此ノ法案ニ付テ、此ノ運用ノ上ニ於テ慎重ヲ期サネバナラスコトハ、洵ニ御同感デゴザイマシテ、政府モ能ク心シテ、此ノ運用ニ誤リナキヲ期シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

尙ホ精神病ニ付テノ我國ニ於ケル遺傳ノ調査ト云フモノガアルカト云フ御尋デゴザイマス、調査ノ段階ニモ色々ゴザイマスガ、政府ト致シマシテハ、相當ノ調査ノ基礎ノ上ニ、此ノ法案ヲ立案致シタノデアリマシテ、ソレ等ノコトハ他ノ機會ニ於キマシテ改メテ御示ヲ致スコトニ致シタイト存ジマス

豫防ヲ主トスルノカ、斷種ヲ主トスルノカ、何レノ政策ヲ政府ハ執ルノカト云フコトデアリマス、是ハ此ノ法案ノミニ依ツテ行クノデアリマセスコトハ、前來屢、御説明

致シタノデアリマス、豫防モ又優生手術モ

兼テ併セ行ハレト云フコトガ、肝要デア
ラウト思フノデアリマシテ、是亦一人モ遺
傳病患者ト云フ者ガ、此ノ世ノ中カラナク
ナツテシマフコト云フコトガ、假ニ徹底デア
ルトシレバ、ソコマデ參ルコトハ御説ノ通
リ中々望ミ難イノデアリマス、尤モ惡質ノ
遺傳性疾患ト云フモノニ付キマシテハ、是
亦精々慎重ヲ期シテ其ノ取扱ヲ致シ、併セ
テ豫防方策ト云フコトノ上ニ於キマシテモ、
出來得ル限リノ力ヲ盡スト云フ、兩方併用
ノ外ハアルマイト思フノデアリマス

惡性ノ「アルコール」中毒患者ヲ除イテア
リマス理由ニ付キマシテハ、前刻モ御答
ヲ致シテ通りデゴザイマスガ、此ノ取扱ニ
付テハ、子孫ニ累ヲ及ボス意味ニ鑑ミマシ
テ、今後モ十分ナ研究ヲ致シテ見ル積リデ
居リマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

尙ホ酒類ノ害惡ニ付キマシテ續々御述ニ
ナリマシタ、二十五歳禁止法案ト云フモノ
ハ、屢々當議會ニ於キマシテモ問題ニナツテ
居ルコトデゴザイマス、此ノ酒ノ問題ノ取
扱ヒニクイコトハ、御説ノ通りニ既ニ飲酒
ノ習慣ノ付イテ居ル人ハ、俄ニ之ヲ廢メ
ト云フコトガ洵ニ困難デアリマス爲、今日
種々ノ憂慮スベキ問題ヲ生ジテ居ル譯ナ
デアリマス、御考ノ根本ハ、未ダ飲酒ノ習
慣ナキ者ニ、其ノ惡習ニ染マナイヤウニセ
ヨト云フ御精神ナノデアリマスガ、其ノ點
ハ全ク御共鳴ヲ致スノデアリマス、ソレヲ
如何ニシテ取扱ツタナラバ宜シイカ、御説
ノ如ク日本トシテノ獨自ノ禁酒法案トシテ、
二十五歳ニ禁酒年齡ヲ延長シテ、サウシテ
今日ノ種々ノ惡例ヲ現ニ露呈致シテ居リマ
スル、此ノ飲酒ノ問題ト云フモノヲ、ドウ
片付ケルカト云フコトニ付キマシテハ、一
ツ十分考究ヲサセテ戴キタイト思ヒマス(拍
手)

○議長(小山松壽君) 北浦圭太郎君

(北浦圭太郎君登壇)

○北浦圭太郎君 私ハ本法案ニ付キマシテ、
大體憲法上ノ疑點ト、刑法上ノ疑點、竝ニ
實益ノ此ノ三點ニ分ツテ、政府ニ質問ヲ試
ミタイト思フノデゴザイマス、尙ホ此ノ議
場ニ於キマシテ、私ノ同僚カラ今一點重要
ナルコトヲ、厚生大臣ニ質問セヨトノコト
デゴザイマスカラ、其ノ點ハ後ニ附加致ス
コトト致シマス

此ノ法案ニ依リマスルト、優生手術ノ申
請ハ地方長官ガ之ヲ受理致シマシテ、其ノ
認否ノ決定權モ地方長官ガ握ツテ居ルノデ
ゴザイマス、而シテ之ニ爭ガアリマスル時
ハ、厚生大臣ガ最終ノ審判權ヲ持ツテ居ル
ノデゴザイマスルガ、申スマデモナク、此
ノ優生手術ハ其ノ名ハ國民優生法案トシテ
立派デゴザイマスルガ、實ハ人ノ身體ニ傷
害ヲ與ヘル行爲デアツテ、大イニ考ヘナケ
レバナラヌ法律案デアアルノデゴザイマス、御
承知ノ通り花柳病ノ傳染ス、傷害罪トシテ
之ヲ論ゼラルル法律生活ニ於テ、此ノ法案
ノ如ク將來永久ニ生殖ヲ不能ナシメル手術
又ハ處置ノ如キハ、臣民ノ身體自由權ヲ侵害
スルモノト言ハナケレバナラヌノデゴザイマ
ス、人ハ元來生殖可能ナルコトガ自然ノ姿態
デゴザイマス、隨テ之ヲ不能ナシメル處置
ハ、人類自然ノ姿ヲ破壊スルモノデアツテ、
傷害デアアルト言ハナケレバナラヌノデゴザ
イマス、刑法ノ精神カラ申シマスルト、假ニ
實際上有益ナル身體侵害デアツテモ、傷害罪
トシテ論ゼラレル場合ガ多アルノデゴザイ
マス、例ヘバ人ニ斬付ケテ、偶ニ被害者
ノ贅肉ヲ切取リ、是ガ爲ニ被害者ハ將來ニ
互ツテ非常ナ便利ヲ得タト云フ場合デモ、
刑法上ハ之ヲ傷害ナリトシテ論ズル場合モ
アルノデゴザイマス、果シテ然ラバ國民ノ
利益ノ爲ダカラト云ツテモ、未來永遠ニ姪
姪ヲ不能ナラシメルト云フ手術ノ如キハ、
傷害タルコトハ疑問ノ餘地ガ無イト確信致

スノデゴザイマス、斯ノ如キ重大ナル身體侵
害ヲ、一片ノ法案決定シヨウト云フコト
ガ無理デアアルノミナラズ、之ヲ一地方長官
ニ依ツテ、其ノ適否ヲ決定スル、爭アル時
ハ厚生大臣ガ審判ヲスルト云フガ如キハ、
憲法ノ精神ニ背反スルモノデアルト言ハナ
ケレバナラヌノデゴザイマス、憲法ノ條文
ニ何ト書イテアルカ、帝國臣民ヲ逮捕シタ
リ、監禁シタリ、又ハ審問、處罰、勿論是
ハ刑事訴訟ニ關スル規定デゴザイマスルガ、
人ヲ死刑ニ處シ、又ハ刑務所ニ入レテ其ノ自
由ヲ拘束スルノモ、元來國家公共ノ利益ノ
爲ニ致スノデゴザイマス、本案モ亦國民體
位向上ノ爲ト云フ、國家公共ノ利益ノ爲デ
ハアルガ、此ノ兩者ノ間ニ大ナル差別ノア
ルコトヲ看過シテハナラナイノデゴザイマ
ス、臣民ヲ逮捕シタリ、監禁シタリ、或ハ審
問、處罰スルノハ、其ノ人民ニ反社會的行
爲ガアルカラデゴザイマス、他人又ハ國家
ニ害惡ヲ加ヘル有責違法ノ科罰行爲ガアル
カラデゴザイマス、其ノ行爲ヲ處罰スル爲
ニ憲法ハ已ムヲ得ズ之ヲ認メテ居ルノデゴ
ザイマス、然ルニ本法案ハ何等ノ反社會的
行爲ナキ者ニ傷害ヲ加ヘントスルノデアリ
マス、一概ニ國家ノ爲デアルト申シマスル
ガ、何等ノ行爲ナキ善良ナル國民ニ、寧ロ
憐ムベキ惡疾ガアリ、同情スベキ天刑病ヲ
リト云フ理由ニ依ツテ、是ガ身體ニ傷害ヲ
加ヘルト云フガ如キハ、仁慈ナル政治デア
ルト云フコトハ斷シテ出來ナイノデゴザイ
マス、今デモ奈良ニハ其ノ遺跡ガ殘ツテ居
ルノデゴザイマスルガ、光明皇后ハ是等ノ
病人ヲ特ニ愛護シ給ヒ、施藥院ヲ設ケテ大
イニ之ヲ保護遊バサレタノデゴザイマス、
然ルニ現政府ハコンナ者ヲ絶滅サセヨウト
致サレマスルガ、第一憲法ノ精神ガ之ヲ許
スカ否カ大ナル疑問デゴザイマス

次ニ憲法デハ「日本臣民ハ法律ニ定メタ
ル裁判官ノ裁判ヲ受クルノ權ヲ奪ハルルコ
トナシ」ト規定致シテデゴザイマスルガ、是
ハ申スマデモナク、民事訴訟ニ付テハ、
天皇ノ名ニ於テ裁判スル裁判官ニアラザレ
バ、之ヲ審判スルコトガ許サレナイノデゴザ
イマス、而シテ本案決定ノ性質ヲ考ヘテ見
マスルト、親子關係親族關係戸主及び相
續人、夫婦關係等、人事ニ重大ナル影響ヲ
及ボスベキ身分關係ヲ決定致ス法律案デゴ
ザイマスルカラ、牛ヤ馬ヲ處分スル行政處
分ニ依ツテ決定スベキモノデハナイノデゴ
ザイマス、地方長官ハ畜産組合、牛馬檢疫
等ニ付テハ、如何様ナ處分ヲナサレテモ宜
イカモ知レナイガ、此ノ法案ニ依ツテ大切
ナル臣民ノ子孫ヲ絶滅スルコト云フガ如キ大
事件、人事訴訟ニ關係スルガ如キコトニ付
テハ、何ト申シテモ明白ナル憲法違反デア
ルト謂ハナケレバナリマセス、此ノ行政處分
ニ依ツテ處分サレタルコト云フコトハ、能ク考
テ戴キマセスト、是ハ人事訴訟デアリ、民事
訴訟デアアル、即チ裁判官ノ裁判ヲ受クル權
利ヲ此ノ法案ニ依ツテ奪ハウトスル、憲法
ハ勿論國家ノ爲ニ制定サレ、而シテ法律ニ
優越スルモノデゴザイマスルカラ、憲法ノ
精神ニ反スルヤウナ法律ノ制定ハ、時勢ガ
如何ニ變化スルレバナラヌノデゴザイマス、
是ト戰ハナケレバナラヌノデゴザイマス、
政府ハ、此ノ法案ガ以上申述ベマシタ憲法
ノ精神ニ反スルモノニアラズト云フ根據ヲ
御示ヲ願ヒタイノデゴザイマス

其ノ第二ハ墮胎トノ關係デゴザイマスル、
刑法ニ於テハ自然ノ分娩期ニ先ダチ胎兒ヲ
母體外ニ排出スレバ、即チ墮胎罪トシテ處
罰致シテ居ルノデゴザイマス、本法案ハ此
ノ場合ヲモ包含シテ居ルコトハ、其ノ條文
ニ照シテ明白デゴザイマス、サウシテ排出
セラレタル胎兒ガ、外部ニ出マシテ生活能
力ガアルカナイカ、即チ死シデ生レヤウト、
尙ホ生キテ生レヤウト、ソナコトハ何等
關係ガ無イ、何レモ墮胎罪トシテ處罰致シ

テ居ルノデゴザイマス、ソコデ私ノ御信致シタイノハ、國家ハ一面ニ於テ此ノ行爲ヲ罰シ、他面ニ於テ此ノ法案ニ依ツテ墮胎行爲ヲ、少クトモ三箇月以内ノ胎兒處理ヲ獎勵スルハ何事デゴザイマスルカ、墮胎ノ原因ハ、御承知ノ通り、不名譽ノ結果、例ヘバ私生兒アルトカ、或ハ糊口ノ困難ヲ免レル爲トカニ原因致シマシテ、ヨク行ハレルノデゴザイマス、内務大臣、厚生大臣ハ多分御承知デアアルコト思ヒマスルガ、三重縣、奈良縣ノ一部ニ於キマシテ、舉村舉ツテ墮胎ヲ致ス地方ガゴザイマス、三重縣ノ如キハ、檢事局ニ於テ既ニ二回ノ大檢舉ヲ斷行サレタノデゴザイマスルガ、未ダニ此ノ風習ガ根絶サレテ居ナイノデゴザイマス、是ハ三重縣ノ山間部デアリマス、昨年十二月ニ檢舉サレマシタ墮胎ノ如キハ、其ノ被疑者實ニ百名ヲ超エ、嚴重ニ搜查致シマスルト、恐ラク、二三ケ村ハ全滅スル程ノ大事件デアツタノデゴザイマス、被告數、奈良縣、三重縣ヲ合ハセテ百名ニ達シ、是ガ爲ニ警察檢事局ニ引張ラレテ取調ヲ受ケタ者ガ三百名以上ニ達シタノデゴザイマス、秋ノ最中ニ妙齡ノ婦人ガドシ／＼召喚サレ、大衝動ヲ惹起致シタノデゴザイマス、驚クベキコトニハ、此ノ地方デハ生活難ノ爲ニ子供ハ大抵二人程度デ、他ハ盡ク之ヲ墮胎シテシマフ、四名モ五名モ子供ヲ育デマス、村カラ甲斐性無シ、意氣地無シトシテ輕蔑セラレ、排斥セラレド云フ状態デアツタノデゴザイマス、所謂貧乏子多シノ輕蔑ヲ受ケルノデアリマス、厚生大臣ハ能ク之ヲ御記憶願ヒタイノデゴザイマスルガ、「産メヨ、殖セヨ」ノ「スローガン」ニ拘ラズ、子供ノ四人モ五人モ持テバ、婦人會ニ行ツテモ幅ガ利カナイ、鎮守ノ宮ノ御祭ニ行ツテモ末席ニ坐ラナケレバナラナイ、是ハ本當ノ話デアリマスカラ、驚カザルヲ得ナイデハアリマセヌカ、而シテ此ノ墮胎

ハ唯單ニ貧困者ダケデハナク、可ナリノ物持モヤハリヤツテ居ツタノデゴザイマス、仍テ其ノ原因ヲ調査致シテ見マスルト、徳川時代ニ此ノ地方ノ大名ハ、自領ノ人民ト他領ノ人民トノ交通接觸ヲ厭ヒ、物ノ賣買、米麥薪炭ノ移入移出ヲ禁ジ、即チ一村ノ自給自足ヲ致サセマシタ關係上、何分山間僻地デゴザイマスルカラ、產物ガ足リナイ、今日ノ如ク生産擴充トカ、或ハ配給制統トカ、左様ナ熟語サヘナカツタ時代デゴザイマスルカラ、遂ニ驚クベキコトニハ人間ノ生産統制ヲヤツタノデゴザイマス、徳川時代ニハ此ノ墮胎ヲ暗黙ノ間ニ認メテ參ツタノデゴザイマスルカラ、此ノ因習ガ久シキニ互リ、今ヤ拭フベカラザル習慣トナツタモノデゴザイマス、安濃津地方裁判所ノ檢事正ハ「サンガリズム」ノ惡思想ガ三重縣ニ入ツテ居ルト主張サレテ居ラマシタガ、私ノ調査ニ依リマスルト、ソレハ大ナル誤リデアツテ、遠ク徳川時代ヨリノ習慣デアツタノデゴザイマス、之ヲ檢事局ハ容赦モナク起訴シ、奈良區裁判所、並ニ上野區裁判所デハ多數ノ婦人ガ公判ニ付セラレ、何レモ有罪ノ判決ヲ受ケタノデゴザイマス、國家ハ一面ニ於テ之ヲ斯ノ如ク嚴重ニ處罰スル、遠ク何百年ノ昔カラノ習慣デアツテ居ル所ノ此ノ墮胎ニ對シテ、殆ド例外ナク有罪ノ判決ノ申渡ヲヤリ、サウシテ他面ニ於テ本法案ニ依ツテ墮胎及ビ墮胎以上ノコトヲ寧ロ獎勵シヨウトスルノハ矛盾デハナイカ、是ガ私ノ政府ニ對スル質問ノ第二點デゴザイマス

第一ニアノ地方ノ惡習慣ヲ如何ニシテ根絶セシメラレマスカ、現在何等カノ手段ヲ法ヲ盡シテ居ラルカ否カト云フ點デゴザイマス、是ハ主トシテ内務大臣ニ御伺致スノデゴザイマスルガ、之ヲ此ノ儘ニ捨テ置キマス、又二三年後ニハ百名、二百名ノ婦人ヲ警察ニ引張ラナケレバナラス事態ノ惹起スルコトハ明白デゴザイマス、仍テ豫メ今カラ何等カノ手段ヲ講ジテ之ヲ豫防ナサラスト、此ノ地方ニ再ビ大不幸ガ惹起致シマスコトヲ私ハ確言致シテ置キマス

第二ハ刑法上ノ處罰事項ハ、刑法ニ規定シテ居ルカラ之ヲ罰シ、本法案ニ於テハ國家ノ爲ニ之ヲ許スノダト云フ簡單ナル説明デハ承知ガ出來ナイノデゴザイマス、御承知ノ通り文明ノ幼稚ナ時代ニハ、墮胎ハ嬰兒殺シト共ニ不法行爲ト認メナカツタモノガ、文化次第ニ開ケテ、嬰兒ノ獨立人格ガ認メラルニ及ンデ、初メテ嬰兒ガ殺人ノ目的物トナリ、更ニ進ンデ、母體內ニ於ケル胎兒保護ノ必要生ジ、墮胎罪ヲ處罰スルヤウニナツタノデゴザイマス、然ルニ神様ダケガ御承知ノ筈、將來生レ出ヅル帝國臣民ヲ捉ヘ來ツテ、人間ノ淺薄ナル知識デ、畸形兒ノ子ハ畸形兒ナリ、精神病者ノ子ハ精神病者ナリト斷定シテ、昔ノ野蠻時代ニ還ラウトスルガ如キコトニハ、首肯出來ナイノデゴザイマス、此ノ點政府ノ所見ヲ御伺致シタイノデゴザイマス

第三ニハ、此ノ法案ハ、手術ヲ受ケル者ノ任意規定トナツテ居ルヤウデゴザイマス、ヨク世間デ申シマス通り、燒野ノ雉夜ノ鶴、子ヲ思ハヌ親ハナイ、殊ニ畸形兒程可愛イノハ親心デゴザイマス、自分ノ子ガ畸形兒デアアル、精神病者デアアルト云フ所以ヲ以テ、其ノ子供ニ優生手術ヲ申請スル親ハ、人情ノ自然トシテアリ得ナイ、天刑病者スラ、物ヲ貰ツテ生活致シテ居ツテモ、其ノ子供ヲ愛育致シテ居リマスルコトハ、何ヨリモ此ノ人情ノ自然ヲ離レ物語ツテ居ルデハゴザイマセヌカ、國家ノ利益ノ爲トハ稱シナガラ、此ノ法案ハ極メテ不徹底デ、優生手術ヲ受ケルカ否カハ、各本人ノ任意ニ委セテアルト云フコトハ、法案第一條ニ聲明致シテ居リマス所ノ、惡疾患者ノ増加ヲ防グト云フコトモ不可能デアレバ、又是ガ爲ニ國民素質ノ向上ヲ圖ルト云フコトモ、大ナル疑問デアアルト言ハナケレバナラス、政府ハ憲法ノ精神ニ悖ラウガ、將又刑法トノ關係ガ矛盾撞著シヨウガ、之ヲ敢テ實施セント欲スルナラバ、何故ニ之ヲ強行規定ト致サナイノデゴザイマセウカ、恐ラク此ノ法案ヲ以テシテハ、優生手術ノ實行ハ、到底實現ガ困難デアラウト確信致シマス、然ラズトスルモ、法律命令ノ盛ナルコト、實ニ今日ヨリ大ナルハナイノデゴザイマス、恰モ降リ續ク春雨ノ如ク、毎日或ハ商工省令、或ハ大藏省令、或ハ各府縣令等々ノ如ク、如何ナル專門家ト雖モ、今日國民ノ頭ニ注ガレル法律命令ヲ理解シ、之ヲ知ルコトハ頗ル困難デアアルノデゴザイマス、昔カラ申シマスルヤウニ、無爲ニシテ化ストカ、法第三章以テ天下ヲ治ムルニ足ルトカ云フヤウナ聖賢ノ政治ハ、夢ニモ考ヘラレズシテ、徒ニ官僚ノ人々ガ机上デ編出ス法律命令デ天下ヲ治メヨウトセラルルカラ間違ヒガ起ル、本法案ノ如キハ、今後ハ墮胎ガ許サレト云フ觀念ヲ、國民ニ抱カセル危險アルノミナラズ、憲法上、刑法上、幾多ノ矛盾撞著ヲ含ミ、而モ其ノ實現スラ困難ナル法律案ヲ、態、會期切迫ノ今日提案シナクトモ、更ニ案ヲ練リ直シテ出直スコトガ賢明ナリト信ジマスルガ、政府ノ所見如何デゴザイマスルカ

第四ハ、法案自體ニ矛盾ガ多イト云フコトヲ、指摘シナケレバナラスノデゴザイマス、此ノ法案ニ依リマスルト、故ナク優生手術ヲ行ヒタル場合ニハ、一年以下ノ懲役トナリ、因テ人ヲ死ニ致シタルトキハ、三年以下ノ懲役トナツテ居リマスルガ、私ノ不思議ニ堪ヘナイノハ、今日マデ、或ハ又此ノ法案ガ確定スルマデニ、故ナク優生手術ヲ行ヒタル者ニ對シテハ、處罰ノ方法ガナカツタノデアアルカ否カト云フコトデアリマス、故ナク優生手術ヲ施シタル場合ニハ、或ハ刑法

上ノ傷害罪若クハ墮胎罪、或ハ又秘密漏洩罪、醫師法違反等ニ引ツ掛カル場合モアレバ、殊ニ緊急避難ノ條文ニ該當スルヤウナ規定モ置カレテゴザイマス、隨テ是等ノ規定ノ多クノ條文ハ、本法案ニ於テハ全然必要トシナイノデハナイカト考ヘラルルノデゴザイマス、又若シ私ノ申シマスルコトガ「フアウル」デアツテ、今日マデ如何ナル法律命令ニモ、此ノ優生法案ニ規定セルガ如キ制裁法規ガナイノデアルト致シマスルマデハ、過去ニ於テ、或ハ本法案確定スルマデハ、優生手術ハ故ナクヤツテモ無罪デアアルノデアルカ、籤ヲ突イテ蛇ヲ出ストハ此ノ事デアツテ、未熟ナル法案ヲ提出スルガ爲ニ、犯罪ヲ罰スルコト能ハザルガ如キ現象ヲ來スコトナキヤヲ惧ルル者デゴザイマス

尙ホ刑法ト本案トノ關係ニ付テ、詳細ナルコトハ委員會ニ讓ルト致シマシテ、私ノ質問ヲ要約致シマスル、此ノ法案第一、憲法ノ精神ニ違反スル、第二、刑法ノ墮胎罪、傷害罪ト矛盾スル、第三人情ニ悖ル、少クトモ仁慈ナル政治デハナイ、第四、法案自體内ニ矛盾モアレバ、徹底モ缺ク、以上ノ要點ニ對シテ政府ノ御所見ヲ質ス次第デゴザイマス

尙ホ私ノ同僚カラ、是ハ極メテ重要デアアルカラ、是非質問セヨト云フコトデ、質問ヲ致スコトデゴザイマスルガ、是ハ私ガ露骨ニ申上ゲマス、詳細ニハ分ラヌノデゴザイマスルガ、國家ヲシテ強大ナラシメルニハ、優秀ナル民族ノ増加ヲ圖ラナケレバナラス、是ハ當リ前ノコトデス、優秀ナル民族ノ増加ヲ圖ルニハ、遺傳學ヲ根據トスル學術ノ研究ノ基礎ノ上ニ立タネバナナラス、然ルニ近來厚生省ハ、徒ニ「生メ、殖セヨ」ト通俗ノ「スローガン」ヲ以テ、人口ノ増加ヲ圖ラウト致シテ居リマスルガ、何等學術ノ研究ノ基礎ノ上ニ立タズシテ、人口ノ増加ヲ獎勵スルコトハ危險デアアル、其

ノ結果トシテハ優良ナラザル人口ノ増加ヲ來ス虞ガアル、是ハ如何ニモ此ノ通りデゴザイマス、社會ガ之ニ對スル義務ヲ持タネバナラス、斷種法ノ如キ、我が民族ノ消長ニ關スル、且又人道ノ上ノ重要ナル法案ヲ提出スル前ニ、政府ハ先ヅ以テ全國ノ遺傳學者ヲ動員シテ、此ノ問題ヲ研究セシムルト共ニ、非常時下ニ於テ優秀ナル民族ノ増殖ニ關シテ考究セシメネバナラス、最近北海道帝國大學教授小能博博士ニ依ツテ、國立遺傳研究所ノ設立ガ唱道セラレテ居ルコトハ、洵ニ機宜ニ適シテ居ルト思フ、政府ハ國立遺傳研究所ノ設立ヲ爲スノ考ナキカ、詰リ國立遺傳研究所ヲ設立シテ、ソレカラ大イニ研究シテ、學問ノ基礎ノ上ニ立ツテ而シテ後ニ斯ウ云フ法案ヲ提出スル方ガ宜イノデハナイカト云フ質問デゴザイマス、以上私ノ質問ハ終リマス(拍手)

(國務大臣吉田茂君登壇)

○國務大臣(吉田茂君) 御答ヲ致シマス、此ノ法案ニ依ル優生手術ハ、一片ノ法律ヲ以テ之ヲ執行スルコト云フコトハ、憲法ノ精神ニ違反シハセスカト云フ御疑念デゴザイマス、本法案ニ規定シマスルガ如クニ、惡質ノ遺傳性疾患ヲ持ツテ居ル人々ニ、最小限其ノ遺傳性疾患ノ遺傳致シマセヌヤウナ手術ヲ致スト云フコトヲ、法律ヲ以テ規定スルコト云フノデアリマスル以上ハ、是ハ憲法ノ精神ニハ背反ヲシナイモノト政府ハ確信致シテ居リマス

尙又此ノ事ヲ取決メマスルノニ、府縣知事又ハ第二審ノ場合ニ、厚生大臣ガ其ノ決定ヲスルト云フコトハ、日本國民ノ裁判ヲ受クルノ權利ヲ妨グルモノデハナイカ、裁判ニ依ラナケレバナラスデハナイカト云フコトデアリマスルガ、此ノ法案ニ依ツテ決定セラレマスル決定ハ、法案ニ明カデアリマスルガ如クニ、内容ガ裁判ノ行爲デゴザイマセヌノデ、行政廳ノ決定——尤モ其ノ

行政廳ノ決定スルコトノ基礎ト致シマシテハ、科學、醫學ノ上カラ十分ノ判斷ヲ必要ト致シマスルノデ、ソレニハ審査會ト云フモノヲ拵ヘマシテ、審査會ノ慎重審議ヲ經テ行政廳ニ於テ決定スルコト云フコトガ適當ナモノト考ヘルノデアリマス、裁判所ノ取扱フベキ事柄デナイ次第デアリマス

尙ホ墮胎ニ關スル刑法ノ法制トノ關係ノ御尋デゴザイマス、此ノ法案デ規定シテアリマスルヤウニ、優生手術ヲ行フベキモノト決定シタ人ガ妊娠ヲ致シテ居リマシテ、殊ニソレガ三箇月未滿デアリマスル場合ニハ、妊娠中斷ヲ行ツテ宜シイ、尤モソレニハソレ相當ノ手續ヲ要求シテアルノデアリマスガ、一定手續ヲ施行シタ上デ妊娠中絶ヲ行ツテ宜シイ、詰リソレハ所謂故ナク墮胎ヲスルノデナイ、一ツノ最モ顯著ナ場合ヲ法律デ規定ヲ致シテアルノデアリマスカラ、在來ノ法制トノ間ニ矛盾ハ一ツモナイノデアリマス、兩々相俟ツテ如何ナル場合ニ不合法デアリ、故ガアリ、如何ナル場合ニ最モ明瞭ニナル次第ナノデアリマス、從來ソレ等ノ點ニ關スル判斷ノ基礎法規ト云フモノガ明瞭デアリマセヌデシタノガ、今回ノ立法ニ依リマシテ其ノ點明瞭ニセラレル次第デアルト思ヒマス、隨テ御心配ニナルヤウナ虞ハナイト思ヒマス

尙ホ此ノ法案ハ原則トシテ任意規定ニナツテ居ルカ、ソレデハ不徹底デハナイカト云フ御話デゴザイマス、ヤハリ斯様ニ致シマシテ惡質ノ遺傳性疾患ノ子孫ニ傳ハリマスルコトヲ防止スルニ致シマシテモ、餘リニ本人ノ意思ヲ無視致シマシテ、之ヲ強行スルコト云フコトハ、餘程慎マネバナラスコトデゴザイマスルノデ、原則トシテ本人ノ任意ト云フコトニ致シテアリマス、任意ニ依リ難イ已ムヲ得ザル場合ニ於テ、初メテ強制ノ手續ヲ履ムト云フヤウナコトニナツ

テ居リマスノデ、原則ヲ任意ニ置イテアルト云フコトハ、本法施行ノ上ニ立案ノ慎重ナ用意ノ積リデゴザイマスノデ、一切合切本法ノ規定ノ適用ハ、總テ強制ニ依ルノダト云フヤウナコトハ、洵ニ行キ過ギデアルト考ヘルノデアリマス

尙ホ最後ニ御話ノゴザイマシタ優良ナラザル人口増加ノ方策ト云フヤウナコトヲ政府ガ懸命ニヤツテモ駄目ダ、須ク優良ナ素質ヲ持ツタ者ノ人口ノ増加ニ努メネバナラスト云フコトハ、洵ニソレハ政府ノ少シモ異存ノナイ所デゴザイマス、人口ノ問題ニ付キマシテハ、質ノ優良ト云フコト、優良ナ質ノ者ガ多ク殖エルト云フコト、兩方共ニ大切ナコトデアリマスルノデ、其ノ心持ヲ以テ諸般ノ政策ヲ講ジテ居ル譯デアリマス、遺傳學ニ關スル公ノ研究所ト云フヤウナコトヲ目論シテ居ル向モアルヤウニ承ツテ居リマス、政府ト致シマシテモ、其ノ事ノ適否ト云フコトニ付キマシテハ、十分ニ考慮ヲ致シテ見タイト思ツテ居リマス(拍手)

(政府委員鶴見祐輔君登壇)

○政府委員(鶴見祐輔君) 只今北原君ヨリ御尋ノ部分ノ內務省ニ關スル點ダケヲ御答申上ゲマス、先程モ御指摘ニナリマシタヤウニ、三重縣ノ伊賀地方ニ於キマシテハ、御話ノ如クニ昔カラ墮胎ノ弊風ガゴザイマシテ、警察ニ於キマシテモ、地元ノ町村ト協力ヲ致シマシテ、此ノ弊風ノ跡ヲ絶ツヤウニ從來トモ努力ヲ致シテ居ツタノデアリマス、現ニ昨年モ三重縣ノ上野署ニ於キマシテ、一人ノ產婆ガ墮胎ヲ致シタト云フコトヲ警察署ニ於テ聞込ミマシテ、搜查致シマシタ結果、三重縣竝ニ奈良縣ニ互リマシテ、五十餘名ノ人ガ檢舉セラレタト云フ事實ガアルノデアリマス、斯ノ如キ弊風ハ之ヲ根絶致サナケレバナラスコトデゴザイマスカラ、今後モ當局者ト致シマシテハ、十

分ニ注意ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、尙ホ詳細ノ數字等ニ於キマシテハ、委員會ニ於テ申上グルコトニ致シマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 是ニテ質疑ハ終了致シマシタ、本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○服部崎市君 本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託サレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○服部崎市君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際日程第三ヲ繰上ガ上程シ、其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ノ順序ハ變更セラレマシタ

日程第三、臨時資金調整法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス 松田大藏參與官

第三 臨時資金調整法中改正法律案 (政府提出) 第一讀會

臨時資金調整法中改正法律案 臨時資金調整法中左ノ通改正ス

第十四條中「百五十倍以内」ヲ「三百倍以内」ニ改ム

第十四條ノ二 政府ハ日本勸業銀行ヲシテ收入金五億圓ニ達スル迄報國債券ヲ發行セシムルコトヲ得

報國債券ハ無記名トシ券面金額ヲ十圓以下トス

第十四條ノ三 報國債券ハ無利子トシ券面金額ヲ以テ之ヲ賣出スモノトス

第十四條ノ四 報國債券ハ發行ノ翌年ヨリ十年内ニ之ヲ償還スベシ

報國債券ニハ毎年一回以上抽籤ヲ以テ割増金ヲ附スルコトヲ得其ノ方法及金額ハ主務大臣ノヲ定ム

第十四條第三項ノ規定ハ報國債券ニ之ヲ準用ス

第十四條ノ五 報國債券ノ所有者ガ長期ニ互リ郵便官署又ハ日本勸業銀行ニ其ノ債券ノ保管ヲ委託シタル場合ニ於テハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ當該債券ニ割増金ヲ附スルコトヲ得

第十五條 復興貯蓄債券法第三條ノ規定ハ貯蓄債券ニ、同法第六條、第七條第一項及第八條並ニ日本勸業銀行法第三十五條ノ二、第三十五條ノ三、第四十條及第四十二條ノ規定ハ貯蓄債券及報國債券ニ之ヲ準用ス

商法第二百九十六條乃至第二百九十八條ノ規定ハ貯蓄債券及報國債券ニハ之ヲ適用セズ

附則中「第十四條及第十五條」ヲ「第十四條及第十四條ノ三乃至第十五條」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員松田正一君登壇〕

○政府委員(松田正一君) 只今議題トナリマシタ臨時資金調整法中改正法律案ニ付キマシテ、其ノ提案ノ趣旨ヲ御説明申上ゲタイト存ジマス

政府ニ於キマシテハ、豫テヨリ事變ノ長期化ニ伴ヒマシテ、政府カラ撒布致シマスル資金、是等ガ國民ノ經濟生活ニ及ボス惡影響ヲ防止スル爲ニ、極力國民貯蓄ノ獎勵ニ力ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、最近ノ我國ノ經濟情勢ヲ見マスルト、從來執リ來ツタ方策ノミデハ、民間ニ滞留シテ居リマスル過剩購買力ヲ吸收スルニハ、必ズシモ十分デナイト考ヘラレマスルノデ、政府

ト致シマシテハ、此ノ情勢ニ對應シマシテ、此ノ際國民貯蓄ヲ一層増進セシメ、特ニ國民大衆ノ過剩購買力ヲ吸收スル一手段ト致シマシテ、茲ニ無利子デハアリマスルガ、相當多額ノ割増金ヲ附スルコトヲ得ル新ナル種類ノ債券、即チ報國債券ヲ收入金五億圓ヲ限度トシテ、日本勸業銀行ヲシテ發行セシムルコトヲ致シ、併セテ從來ノ貯蓄債券ニ付キマシテモ、割増金ノ最高限度ヲ倍額マデ引上グルコトヲ得ルコトヲ致シタイト存ジマシテ、茲ニ臨時資金調整法中改正法律案ヲ提案致シタ次第デアリマス、其ノ詳細ニ付キマシテハ他ノ機會ニ十分御説明ヲ申上ゲタイト存ジテ居リマスガ、何卒御審議ノ上速ニ御協賛アラントラ御願スル次第デアリマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○服部崎市君 本案ハ政府提出、昭和十五年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外五件委員ニ併セ付託サレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○服部崎市君 殘餘ノ日程ヲ延期シ、本日は是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、次會ノ議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時五十一分散會

衆議院議事速記第二十三號 中正誤

頁 四 一三 厚生 正

衆議院議事速記第二十四號 中正誤

頁 四 一三 衛生專門

衆議院議事速記第二十四號 中正誤

頁 四 一三 衛生專門

衆議院議事速記第二十四號 中正誤

衆議院議事速記第二十四號 中正誤